

USER'S MANUAL

11Mbps 無線LAN USBプリントサーバ

GW-PS01U

PLANEX COMMUNICATIONS INC.

本製品を安全にお使いいただくために

⚠ 警告

本製品をご利用の際は、以下の注意点を必ずお守りください。これらの事項が守られない場合、感電、火災、故障などにより使用者の重傷または死亡につながるおそれがあります。

分解・改造・修理はダメ！

各部のネジを外したり、カバーを開けたりしないでください。また製品内部の部品を改造・交換しないでください。感電や火災につながるおそれがあります。



雷のときはさわらないで！

雷が発生している間は、製品各部およびケーブルにさわらないでください。感電するおそれがあります。



正しい電圧で使用して！

指定の電圧以外で使用すると誤動作や火災につながるおそれがあります。



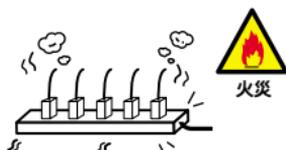
通気口をふさがないで！

内部に熱がこもり、誤動作や火災につながるおそれがあります。



タコ足配線・無理な配線はダメ！

コンセントや電源タップの定格を超えて電気製品を接続すると、発熱し火災につながる危険があります。



電源コードをつけて移動しないで！

本製品を設置・移動する際は、必ず電源コードを前もって抜いておいてください。電源コードを入れたまま移動し、コードが傷つくと誤動作や火災につながるおそれがあります。



液体・異物は入れないで！

製品内部に液体や異物が入ると、ショートして火災が発生したり、誤動作したりする可能性があります。
万一異物や液体が入ってしまった場合は、電源コードをコンセントから外して弊社サポートセンターまでご連絡ください。



電源コードは傷つけないで！

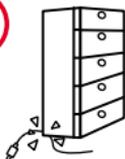
火災・感電につながるおそれがありますので、電源やACアダプタのコードは絶対に加工したり傷つけたりしないでください。また以下の点を守ってコードを傷めないようにしてください。

コードの上に物を載せない

熱源の側にコードを置かない

コードをかじる癖のあるペットは隔離する

(かじった部分からショートし発火する危険があります)



設置・保管場所をもう一度確認して！

以下の場所での本製品のご利用や保管は避けてください。これらの場所で設置・保管を行うと誤動作や感電、火災につながる危険があります。

- ・本製品が落下する可能性のある不安定な場所
- ・直射日光のあたる場所
- ・高温または多湿の場所（暖房器具の側も含む）
- ・急激に温度変化する可能性のある場所（結露のおそれがある所）
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所
- ・静電気を帯びやすい場所（絨毯の上も含む）
- ・腐食性のガスが発生する場所



おねがい

本製品のお手入れ

- ・本製品のお手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。
- ・汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布を浸し、かたく絞って本製品を拭いてください。また最後に乾いた布で軽く拭いてください。
- ・台所用中性洗剤以外は使わないでください。シンナーやベンジン、ワックス、アルコールが入ったものは使用できません。

目次

第1章	概要	
	1.GW-PS01Uの特長	5
第2章	インストール手順	
	1.ハードウェアのインストール	7
	2.セットアップ	12
第3章	TCP/IP	
	1.IPアドレスの設定	14
	2.Windows 95/98/Me/NTでの使用方法	15
	3.Windows 2000での使用方法	38
第4章	LANManager (TCP/IP)	59
	1.概要	60
	2.LANManagerで使用する場合の注意点	75
第5章	設定ユーティリティの使用法	
	1.概要	77
	2.ブラウザ	78
	3.SetupWizard	91
	4.LPRint98	108
付録A	故障診断	137
	1.テストスイッチ	137
	2.テクニカルサポートコール	138
付録B	バージョンアップ	139
付録C	製品仕様	140

《マニュアル内の表記について》

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。

User's Manual Ver.1.0

No.PCM-01-12-TN-GWPS01U

1. 概要

この章では、プリントサーバGW-PS01Uの概要について説明します。

1.GW-PS01Uの特長

GW-PS01Uには次のような特長があります。

IEEE802.11b対応

GW-PS01Uは、IEEE802.11bに対応したUSBプリントサーバです。USBポート搭載プリンタに対してネットワーク経由での印刷を可能にします。またUSBハブを使用することにより最大3台までのUSB対応プリンタに対して出力することが可能です。

セットアップウィザード搭載（ユーティリティ）

GW-PS01Uが設置されているネットワークの状況を自動認識し、設定に必要な入力項目をウィザード形式で順次指示することにより、設定作業の効率を大幅に向上しました。

Windows95/98/Me対応ピア・ツー・ピア印刷ソフト "LPRint98"標準添付

Windows95/98/Meでピア・ツー・ピア印刷を行うためのライセンスフリーのピア・ツー・ピア印刷用LPRソフト"LPRint98"を標準添付ユーザ数に制限はありませんので、オフィス内の全員がご利用いただけます。

WINS対応

GW-PS01Uは、WINSがサポートされている環境においてWINSを有効にすることでネットワーク内の名前の重複を避けることができます。また、LANManager (下位プロトコル TCP/IPの場合のみ)を使用してルータを超えた印刷も可能となります。

注意 FireWallの設定によっては、Inetnetを経由した先のGW-PS01Uに接続できないことがあります。

機能豊富で簡単操作の設定ユーティリティ

HTTPブラウザ対応設定画面

内蔵漢字フィルタ

GW-PS01Uは日本語印刷データを各社のプリンタにあった漢字コードに変換できます。

モニタリング機能

実行ステータスやエラーをモニタリングできます。
SNMPにも対応しています。

バージョンアップが容易

フラッシュメモリを搭載していますので、バージョンアップが簡単です。

テスト印刷スイッチ

GW-PS01U本体の設定内容をプリンタに印刷できます。

2. インストール手順

この章では、プリントサーバGW-PS01Uのインストール手順について説明します。

1. ハードウェアのインストール

1.1. 必要な環境

本装置を使用するために最低限必要なハードウェア環境は次の通りです。

プリンタ

USBポートを装備しているもの

ネットワーク

IEEE802.11b規格に従って構築されたネットワーク

1.2. 本体各部の名称と機能

本体上面

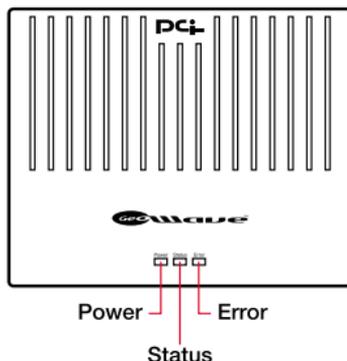


図2-1 GW-PS01U上面図

本体裏面

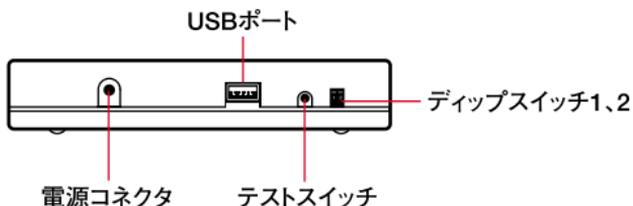


図2-2 GW-PS01U裏面図

本体の状況に応じて下表のように点灯、点滅します。

状態	緑色LED	黄色LED	赤色LED
電源ON	点灯	点灯→消灯	点灯→消灯
通常	点灯	パケット受信で点滅 (自ノード宛のみ)	消灯
ステータス印刷中	点滅	点滅	消灯
設定初期化中	点滅	点滅	点滅
エラー	消灯	消灯	点滅
バージョンアップ中	点滅 (ゆっくり)	点滅 (ゆっくり)	点滅 (ゆっくり)

注意 バージョンアップモード時に、パケットを受信した場合はSTATUS(黄)のLEDが点滅して上記の表と異なる動作に見えることがあるかもしれませんが、GW-PS01Uの仕様ですので問題はありません。

設定の印刷

GW-PS01Uには本体横面にテストスイッチがあります。このスイッチを押すことにより、GW-PS01Uに接続されたプリンタに、GW-PS01U本体に設定された内容を印刷することができます。

GW-PS01Uの電源が入っていて、GW-PS01Uに接続されたプリンタが印刷可能(オンライン)な状態でテストスイッチを押してください。

印刷された内容が、お客様の設定した内容になっているか確認してください。

注意 印刷データはテキスト(ASCII)データですので、一部のプリンタでは、正常に印刷されない場合があります。

設定の初期化

テストスイッチを押しながらGW-PS01Uの電源を入れ、そのまま15秒以上テストスイッチを押し続けると、GW-PS01U本体内部の設定は工場出荷時のデフォルト設定に戻ります。

トラブルの原因が不明で、初めから設定をやり直したい場合にご利用ください。

参考 デフォルト設定

工場出荷時の状態は、第6章の表6-2をご覧ください。

1.3. 本体の設置

GW-PS01Uは、プリンタのUSBポートに接続ください。

注意 設置の際には次の点にご注意ください。

- ・高温や低温、多湿の場所でのご使用、保管は避けてください。
- ・埃の多い場所や、振動が加わる場所でのご使用は避けてください。
- ・本体の上に物を置かないでください。
- ・不安定な場所でのご使用は避けてください。
- ・水、あるいは溶剤等がかからないようにしてください。
- ・強い電磁障害のある環境でのご使用は避けてください。

1.4. 接続と電源投入

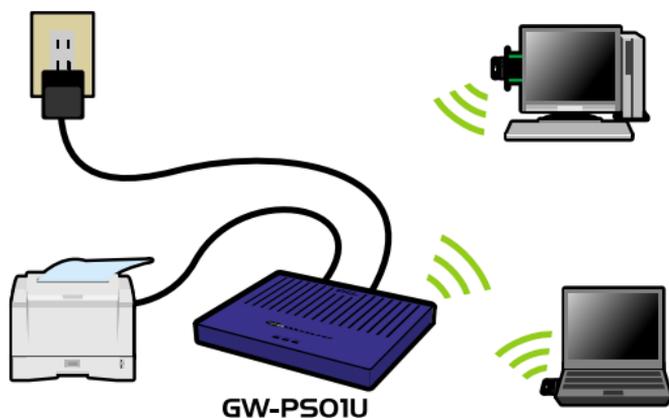


図2-3

1. 接続するプリンタの電源をOFFにします。
2. GW-PS01Uをプリンタに接続します。
3. プリンタの電源をONにします。
4. GW-PS01UにACアダプタを接続後、商用電源(AC100V)へ接続します。

注意 必ず付属のACアダプタをご使用ください。

5.本体のLED表示を確認します。

(「2.1.2. 本体各部の名称と機能」参照)

2. セットアップ

2.1. 環境別設定方法

ハードウェアのインストールが完了したらGW-PS01Uの設定を行います。GW-PS01Uは各種のネットワークプロトコルに対応しています。それぞれの環境で利用するための方法は次の通りです。

第3章 TCP/IP

第4章 LANManager

第5章 設定ユーティリティ・ブラウザ使用方法

注意 GW-PS01Uを初めてご使用いただく場合(工場出荷時設定に戻した場合)には、設定を行うPCの無線カードの設定を下記内容に設定変更を行う必要があります。

動作モード ……………Ad-Hoc

チャンネル …………… 3

WEP……………なし

2.2. 設定ユーティリティ

GW-PS01Uを設定するために使用するユーティリティは、GW-PS01U付属のCD-ROMに含まれています。本マニュアル内には、ユーティリティ毎にプログラムが含まれているフォルダ名を記載していますので、必要に応じて参照願います。

Windows用設定ユーティリティ（付属CD-ROM収納）

SetupWizard（TCP/IP対応）

Print Admin（TCP/IP対応）

その他

1. ブラウザ

GW-PS01Uの設定ユーティリティの使用方法の詳細については、「第x章 設定ユーティリティの使用方法」でまとめて説明しています。

3. TCP/IP

この章では、プリントサーバGW-PS01UのTCP/IP環境での設定手順について説明します。

1. IPアドレスの設定

プリントサーバGW-PS01UにIPアドレスを設定するには次のような方法があります。

- 1.SetupWizardを使用する。
- 2.Print Adminを使用する

1.1. SetupWizardでの設定

SetupWizardはGW-PS01Uに付属の簡単セットアップウィザードです。

GW-PS01Uを初めて設定する場合に設置されているネットワーク状況を自動認識し、設定に必要な入力項目をウィザード形式で設定が行えます。

詳細につきましては、「6.3. SetupWizard」をご覧ください。

1.2. PrintAdminでの設定

PrintAdminは、ネットワーク管理ユーティリティです。

GW-PS01Uの各設定を参照することが可能です。

2. Windows 95/98/Me/NTでの使用方法

2.1. 概要

GW-PS01UをWindows95/98/Me、WindowsNTで使用するには次の設定が必要です。

1.GW-PS01Uの設定

GW-PS01U本体にIPアドレスが設定されていれば他の設定は特に必要ありません。

2.Windows95/98/Me、WindowsNTの設定

Windows95/98/Me、WindowsNT標準のTCP/IPプロトコルを組み込む必要があります。

Windows95/98/Meの設定およびLPRint98については 3.2.7.をご覧ください。

2.2. GW-PS01U本体の設定

GW-PS01U本体にIPアドレスを設定します。設定の方法は「3.1. IPアドレスの設定」をご覧ください。

2.3. WindowsNT4.0の設定

LPRを利用しGW-PS01Uで印刷を行うために必要なWindows NT4.0の設定について説明します。

注意 WindowsNT4.0にて使用する場合には、ServicePack3をインストールすることが最低必要です。推奨する環境としては、ServicePack5以上をインストールすることをお勧めします。

LPRの組み込み

1. 「コントロールパネル」画面で「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。

2. 「ネットワーク」画面が表示されたら「サービス」をクリックし、ネットワークサービスウインドウリストに「Microsoft TCP/IP 印刷」が組み込まれているか確認してください。



注意 既に組み込まれている場合は「2. プリンタの作成」へお進みください。

3. 組み込まれていない場合は「追加(A)...」をクリックし、「Microsoft TCP/IP印刷」を選択して「OK」をクリックします。
4. ネットワーク」の画面に戻りましたら、ネットワークサービスウィンドウのリストに「Microsoft TCP/IP印刷」が表示されている事を確認し、「OK」ボタンをクリックします。
5. ネットワーク設定の変更」画面が表示されたら「再起動」ボタンをクリックします。

プリンタの作成

1. コントロールパネルを開き、「プリンタ」をダブルクリックします。「プリンタの追加」をダブルクリックし「プリンタの追加ウィザード」を立ち上げます。「このコンピュータ(M)」を選択して、「次へ」をクリックします。
2. 「ポートの追加(T)」をクリックし「プリンタポート」画面を表示します。
3. 利用可能なプリンタポート(A):」のリストで「LPR Port」を選択して、「新しいポート(P) ...」をクリックします。

4. 「LPR互換プリンタの追加」の画面で「lpdを提供しているサーバの名前またはアドレス(N):」の欄には、GW-PS01Uに設定したIPアドレスを入力します。

「サーバのプリンタ名またはプリントキュー(R):」の欄にはGW-PS01Uの出力先"lpt1"を入力して「OK」をクリックしてください。入力は大文字、小文字を区別しません。

1つ前の画面に戻りますので、「閉じる」をクリックしてください。

5. ここで、「利用可能なポート(A):」のリストに作成したプリンタポートが追加表示されチェックされているのを確認して「次へ」をクリックします。

6. 下図の画面で「製造元(M):」からメーカーを、「プリンタ(P):」から接続されているプリンタを選択して、「次へ」をクリックします。使用するプリンタが見つからない場合は、プリンタ付属のドライバをご使用ください。
- なお、プリンタドライバのインストール方法はプリンタのマニュアルをご覧ください。



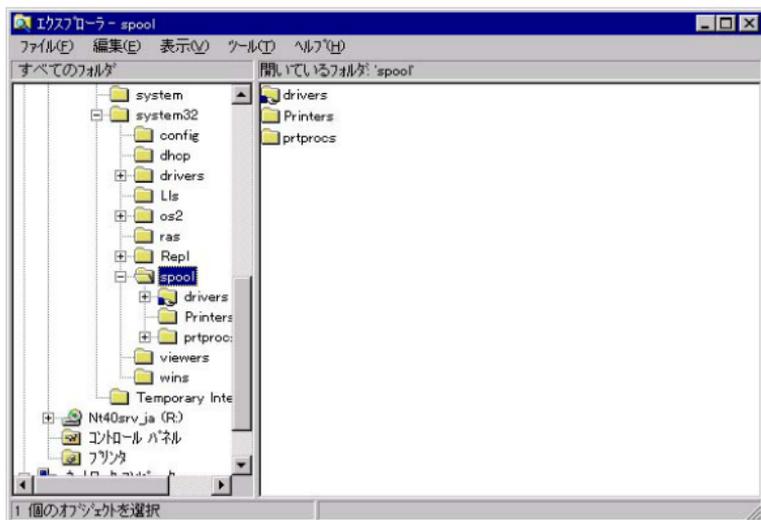
7. プリンタ名を入力する画面では、判別しやすい名前を入力し「次へ」をクリックしてください (WindowsNT4.0上でのプリンタ名になります)。
8. 次の画面では「共有しない (O)」を選択して、「次へ」をクリックします。
9. 続いて、テストページを印刷で「はい」を選択して、「完了」をクリックしてください。

2.4. ファイルシステムがNTFSの場合のご注意

WindowsNTからLPR印刷を行った際に「書き込みエラー」とエラーが表示される場合について説明します。

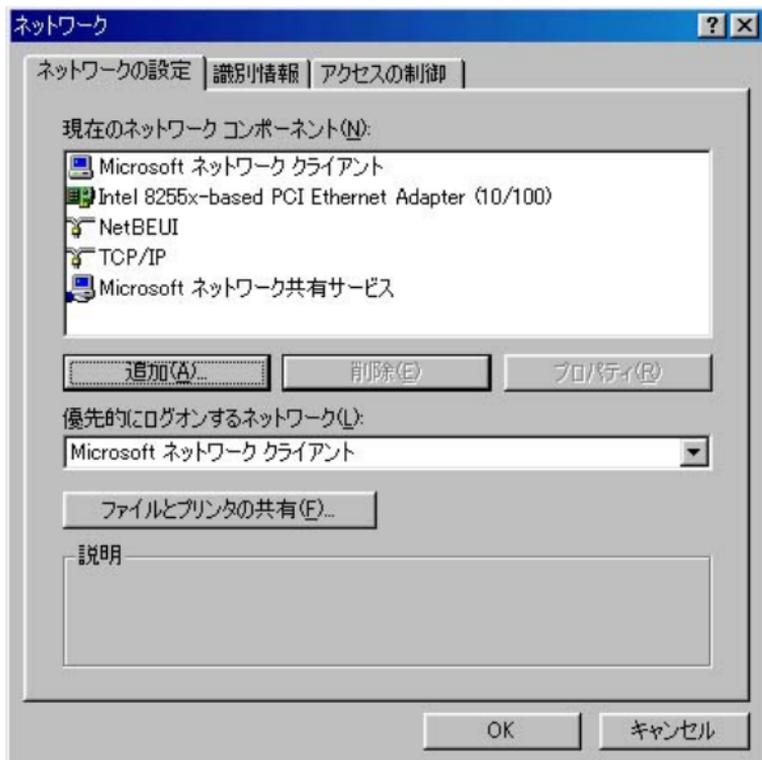
この場合、ユーザに与えられたスプールディレクトリのアクセス権が適切でないことがありますので、以下のことを確認してください。

「エクスプローラ」を起動し、¥WINNT¥system32¥spoolというディレクトリを選択し、右クリックで「プロパティ」を選択します。次に、「セキュリティ」を選択し、「アクセス権」をクリックします。



「ディレクトリのアクセス権」に印刷を行うユーザに与えられたグループが存在していることを確認します。

また、そのグループに与えられたアクセス権の種類が、「フルコントロール」または「追加と読み取り」、「変更」になっていることを確認してください。



印刷を行うユーザのグループがない場合
「追加」を選択してグループを追加してください。

アクセス権が、「フルコントロール」「追加と読みとり」「変更」
以外の場合
そのグループを選択して「アクセス権の種類」で上記のアクセス
権を与えてください。

アクセス権の種類が「特殊なディレクトリのアクセス権」になっ
ている場合
「読み取り」、「書き込み」、「実行」のアクセス権を与えられている
ことを確認してください。この3つのアクセス権が与えられてい
ない場合は、不足している権利を与えてください。

同様に「spool」下の「Printers」というディレクトリアクセス権も
ご確認ください。

2.5. WindowsNTのプリンタをネットワークで共有する場合

WindowsNTで作成したプリンタを共有することで、Windowsパソ
コンからWindowsNTを経由した印刷が可能になります。共有プリン
タの設定は次の手順で行います。

- 1.共有設定するプリンタを右クリックし「共有」を選択する。
- 2.共有」タブを選択された画面で「共有する」にチェックを入れます。

- 3.共有名」の覧にシステムが作成した共有名を表示します。
この共有名は自由に変更できますが、ネットワークで共有するためユニークな名前が必要です。
- 4.プリンタ共有に関するユーザーの使用権などについての詳細は Windows NT のマニュアルをご覧ください。
- 5.Windowsディレクトリの下、[System32]下の「Spool」と、「Spool」の下「printer」について、印刷を行うユーザのグループに対して、「追加と読み取り」のアクセス権を与えてください。

注意 LANManager等のワークステーションからWindowsNTを経由して印刷する場合、WindowsNTで設定するプリンタドライバは使用されません。印刷するワークステーション側のプリンタドライバが使用されます。

2.6. Windows95/98/Meから直接印刷を行う場合

LPRint98は Microsoft Windows95/98/Meで弊社プリントサーバとピア・ツー・ピア印刷を行うためのユーティリティです。

LPRint98はGW-PS01U付属CD-ROM内のLPRint98フォルダの中に収録されています。

また詳しいLPRint98の設定は6.6 LPRint98をご覧ください。

Windows95/98/Meから直接印刷を行う場合は以下の手順にしたがって設定してください。

設定手順

以下の手順はGW-PS01UにIPアドレスが設定されていることを前提とします。

以下の a~dで設定が終了している項目があれば、次の項目に進んでください。

- a.Windows95/98/MeにTCP/IP環境を設定する。
- b.GW-PS01Uに付属のソフトウェア「LPRint98」をWindows95/98/Meにインストールし設定する。
- c.Windows95/98/Meでプリンタを作成する。
- d.テストプリントを印刷する。

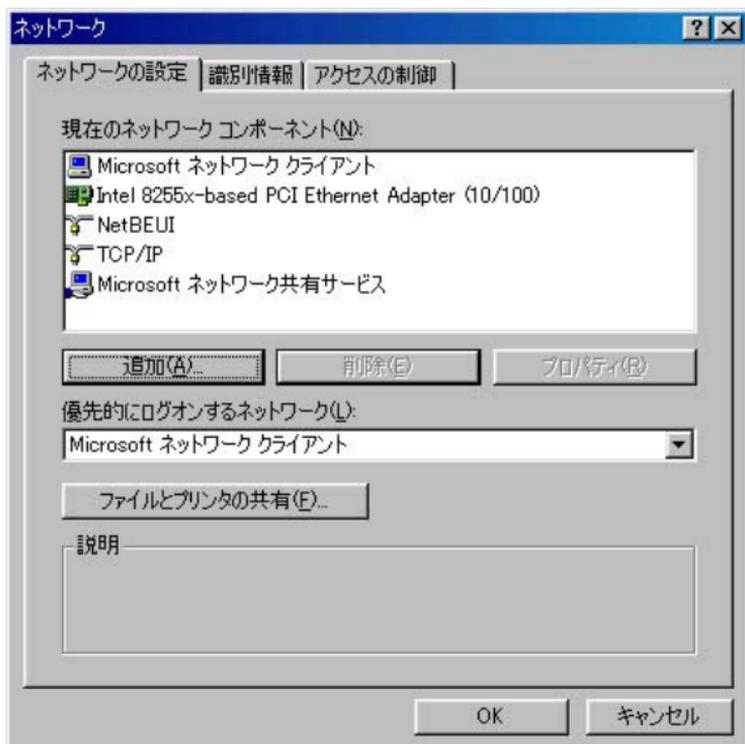
Windows95/98/MeのTCP/IP環境設定

既にWindows95/98/MeにIPアドレスが設定されている場合は、「b.LPPrint98のインストール」に進んでください。

1.「コントロールパネル」の「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。

「ネットワーク」画面が表示されたら、「現在のネットワーク構成」に以下の項目が組み込まれていることを確認してください。

- ・TCP/IP(プロトコル)
- ・LANアダプタ(アダプタ)



注意 TCP/IPが表示されていない場合

「追加」をクリックし、「プロトコル」 「追加」をクリック、「Microsoft」 「TCP/IP」 「OK」をクリックして組み込みます。再起動を要求されますが、「いいえ」を選択して下記のIPアドレスの設定を同時に行います。

2. 「現在のネットワーク構成」のTCP/IPをダブルクリックして「TCP/IPのプロパティ」を表示します。「IPアドレスを指定」にチェックを入れてIPアドレス/サブネットマスクの欄にご使用になっているネットワークの環境に合ったIPアドレス/サブネットマスクを正確に入力して「OK」をクリックしてください。設定が終了後、Windows95/98/Meを再起動してください。
(なおIPアドレス/サブネットマスクの値については、ネットワーク管理者にご相談ください。)

例) IPアドレス:192.168.1.222

サブネットマスク:255.255.255.0



LPRint98のインストール

1. 付属のCD-ROM内のフォルダ「LPRint98」「PROGRAM.DSK」内の「Setup.exe」を実行すると「LPRint98セットアップ」画面が表示されますので、「インストール」をクリックします。

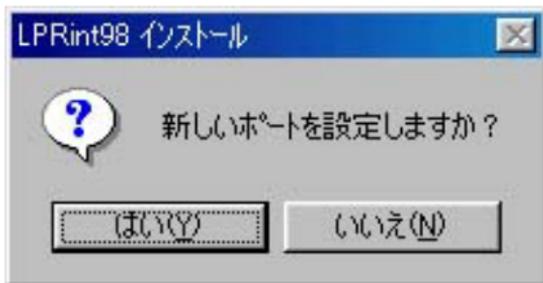


2.ここで、「LPRint98インストール」画面が表示されますので「はい」をクリックします。必要なファイルがコピーされLPRint98のインストールが終了しますので「OK」をクリックします。



ポートの設定

以下の画面が表示されますので「はい」をクリックしてください。



ただし、ポートの設定はインストール後でも可能です。

詳しくは7.7 LPRint98を参照

1. 「LPRint98ポートの設定」画面が表示されますので次の3点を参照の上、入力してください。

例) ポート名:GW-PS01U

IPアドレス/ホスト名:192.168.1.254



2. 「ポート名」には既に存在するポート名及び、以下の半角文字は使用できません。(半角 " "(スペース)、"/"、"¥"、"&"、":"、"=")
3. 「IPアドレス/ホスト名」にはGW-PS01Uに割り当てたIPアドレスを入力してください。
4. 「出力先」にはlpt1を指定してください。

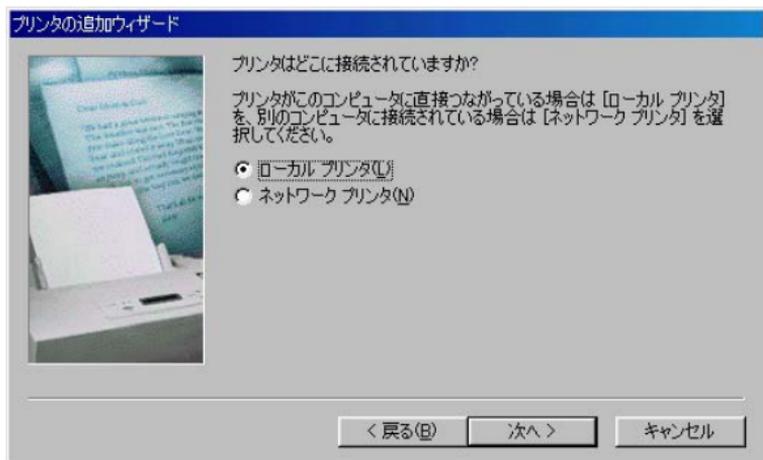
これでLPRint98の設定は終了ですが、設定を有効にするために「OK」をクリックし、PCを再起動してください。



プリンタの作成

WindowsMeでのプリンタの作成に関しては、WindowsMeのマニュアルをご参考ください。

- 1.Windows95/98の「スタート」「設定」「プリンタ」をクリックし、「プリンタの追加」をダブルクリックして、プリンタウィザードを起動します。



- 2.「ローカルプリンタ」を選択し、「次へ」をクリックします。

- 3.次にプリンタドライバを組み込みます。

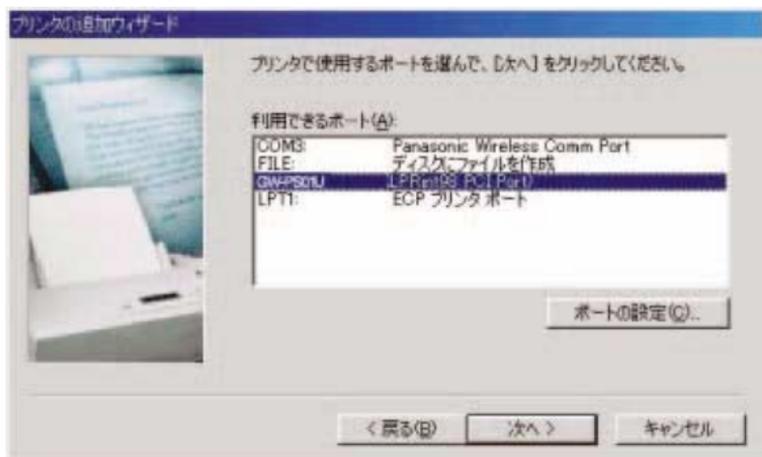
Windows95/98に付属のドライバを使用する場合は、「メーカー」と「プリンタ」をご使用になるものとあわせ、「次へ」をクリックします。

プリンタに付属のドライバを使用する場合は、プリンタのマニュアルをご覧の上お使いになるプリンタドライバを組み込んでください。

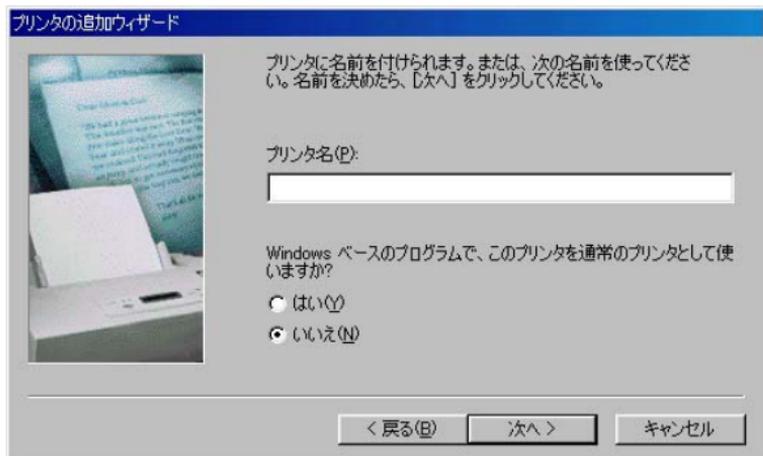
4.次に「利用できるポート」からLPRint98で登録したポート名を選択します。

例)(GW-PS01U:prn)

「3.2.6.3. ポートの設定」でポート名をPrinter1と設定した場合はこのようなポート名として表示されます。



5.ポートを選択して、「次へ」をクリックします。



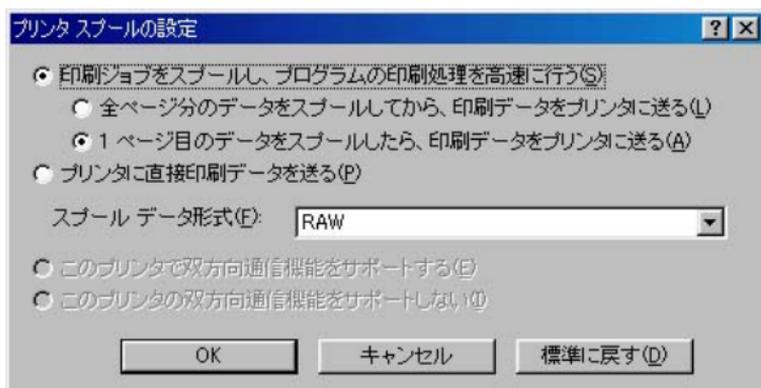
6.プリンタ名はユニークなものを設定し、「次へ」をクリックします。



7."印字テストを行いますか?"には「いいえ」にチェックして「完了」をクリックしてください。

プリンタの設定確認とテストプリントの印刷

1. 「スタート」「設定」「プリンタ」から、作成したプリンタがあることを確認し、そのアイコンを右クリックして「プロパティ」を選択します。
2. 「詳細」タブを選択し、「スプールの設定」をクリックしてください。



3. 「このプリンタで双方向通信機能をサポートしない」をチェックしてください。

注意 プリンタによっては双方向通信機能のところはグレーアウト（設定不可）になっている場合はそのままかまいません。「プリンタに直接印刷データを送る」にはチェックしないでください。

4. 設定を確認して、「OK」をクリックします。するとプリンタの「プロパティ」の画面に戻りますので「適用」をクリックします。「情報」タブを選択し「印刷テスト」ボタンをクリックします。
5. プリンタドライバのプロパティを開き「印字テスト」ボタンを押します。すると「LPRint98拡張印刷モニタ」が自動的に立ち上がります。



注意 デフォルト設定では、100%に達すると自動的に画面は消えます。

6. テストプリントを確認してください。印刷されていない時はもう一度"1.Windows95/98/MeのTCP/IP環境設定"から確認してください。

3. Windows2000での使用方法

プリントサーバGW-PS01Uでは、Windows2000(Professional /Server)標準のStandard TCP/IP(LPR)もしくはLPR PORTを使用して印刷できます。

3.1. Windows2000のLocal Printer Portについて

Windows2000 Server及びProfessionalにおいては、ローカルプリンタポートとして3種類のポートが用意されています。

Local Port ……Windows2000のParallel PortにPrinterを接続するためのポート

Standard TCP/IP Port ……Windows2000で新しく用意されたポート (LPR/RAWを選択できます。)

LPR Port ……WindowsNTがサポートしているLPR PORTと同等なポート

注意 RAW(Port9100)機能は、片方向通信(送信のみ)となります。

3.2. 設定概要

GW-PS01UをWindows2000で使用するには次の設定が必要です。

1.GW-PS01U本体の設定

GW-PS01U本体にIPアドレスの設定と無線の設定する必要があります。

2.Windows2000の設定

Standard TCP/IP印刷を行う場合は、Windows2000標準のTCP/IPプロトコルを組み込む必要があります。LPR Portを使用する場合は、別途設定が必要です。

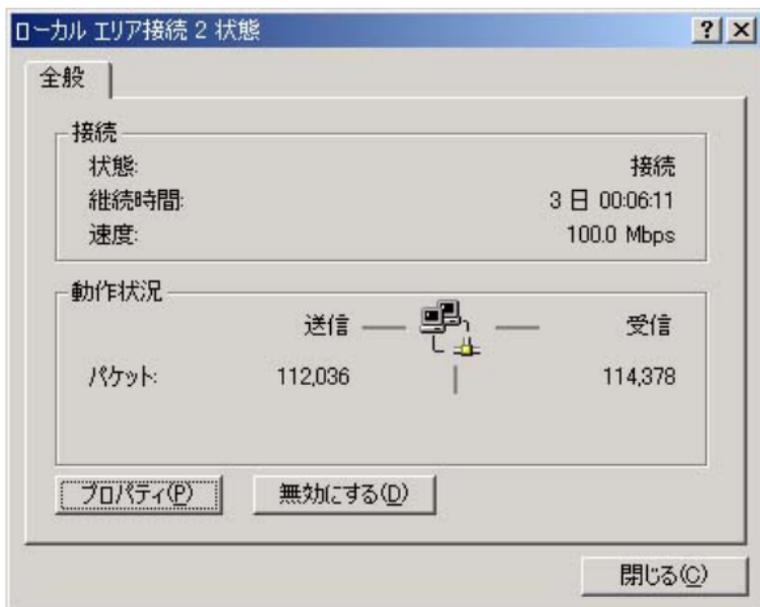
3.3. GW-PS01U本体の設定

GW-PS01U本体にIPアドレスを設定します。設定の方法は「3.1. IPアドレスの設定」をご覧ください。

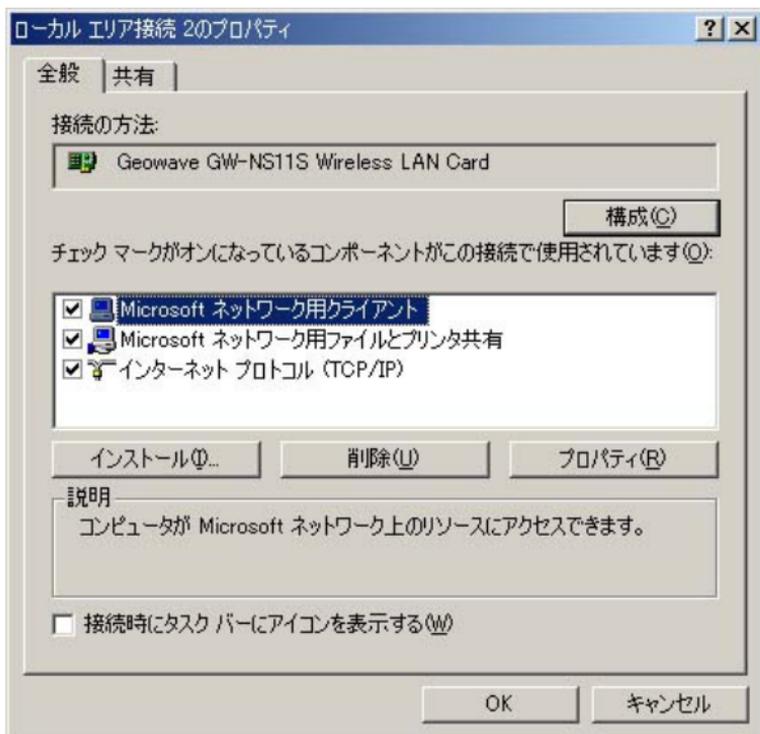
3.4. Windows2000の設定

インターネットプロトコル(TCP/IP)の組み込み

- 1.Windows2000にAdministrator(または同等権限のユーザ)でログインします。
- 2.「スタート」「ネットワークとダイヤルアップ接続」「ローカルエリア接続」を実行します。



3. 「プロパティ」をクリックし、「インストール」をクリックしてください。「ネットワークコンポーネントの種類を選択」画面が表示されますので、「プロトコル」を選択して、「追加」をクリックしてください。「ネットワークプロトコルの選択」画面が表示されますので一覧から「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択して「OK」をクリックすると必要なファイルがコピーされ、「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が組み込まれます。



4. 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」をクリックして、使用する環境に適したIPアドレス等の設定を行ってください。

5.GW-PS01UとTCP/IPを使用して通信ができることを確認してください。

注意 既に「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が組み込まれている場合は必要ありません。

プリンタの作成(Standard TCP/IP(LPR ・ ポート9100)の場合)

Standard TCP/IP(LPR)を利用しGW-PS01Uで印刷を行うために必要な設定について説明します。

まず、プリンタの作成前に、Windows2000がEthernetに接続されており、TCP/IPを使用してGW-PS01Uと通信ができることを前提とします。GW-PS01Uには、適切なIPアドレス(必要に応じて、SubnetMask、DefaultGatewayAddress)が設定されているものとします。

例)

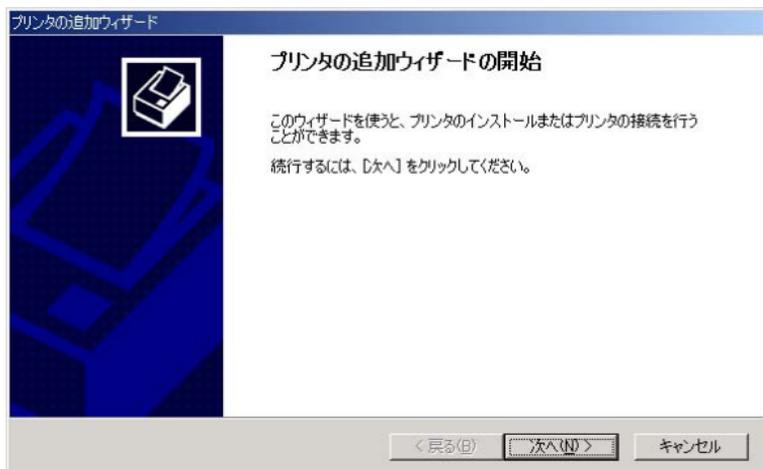
使用OS ……………Windows2000 Professional

使用Printer ……………CANON LBP-470

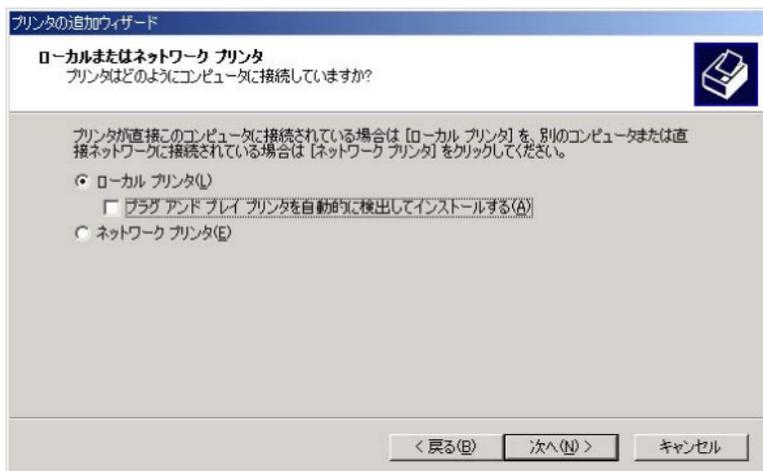
使用Printserver……GW-PS01U

(Defalut設定 IPアドレス=192.168.1.254)

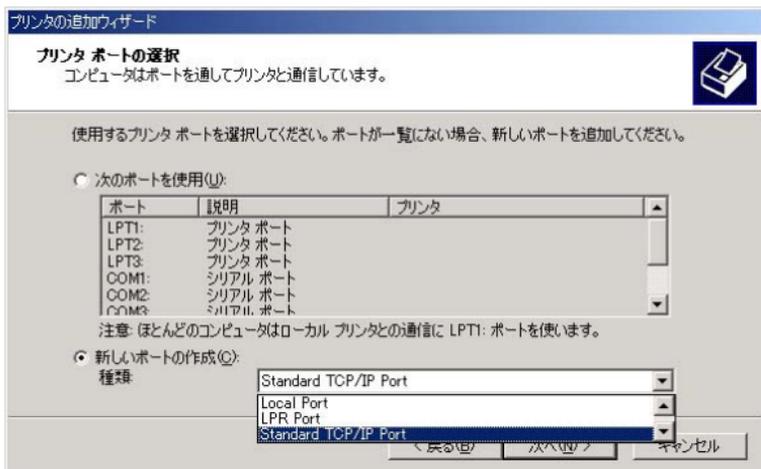
1. スタートメニューより、「設定」「プリンタ」を選択します。
「プリンタの追加」をダブルクリックします。



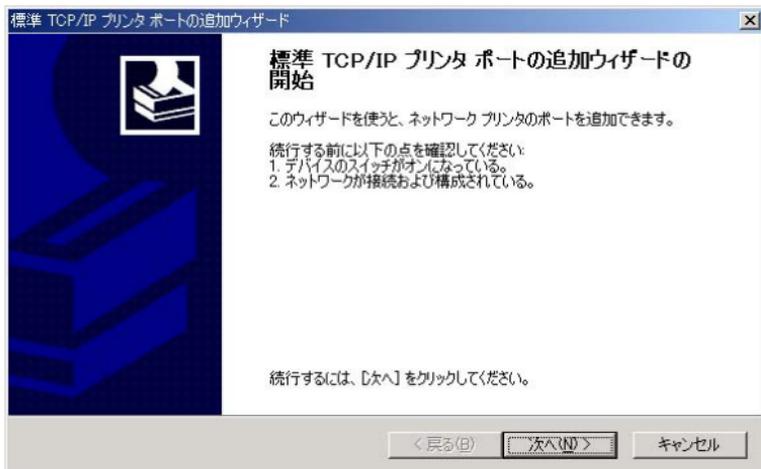
2. 「プリンタの追加ウィザード」が表示されますので、「次へ」をクリックしてください。



3. 「ローカルプリンタ」を選択し、「次へ」をクリックします。「プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする」にはチェックを入れないでください。



4. 新しいポートの作成で「Standard TCP/IP Port」を選択し、「次へ」をクリックします。



5. 「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード」が表示されますので、「次へ」をクリックしてください。

6. GW-PS01Uに設定したIPアドレスを入力し、「次へ」をクリックしてください。ポート名は、ユニークなものに限ります。デフォルトでは、「IP_入力したIPアドレス」が入ります。

7.ポートの追加でIPアドレスを入力すると、そのIPアドレスにアクセスし、プリンタの情報を取得する機能が用意されていますが、GW-PS01Uはこの機能をサポートしていませんので「カスタム」を選択し、「設定」をクリックしてください。

「標準TCP/IPポートモニタの構成」のデフォルト値が表示されますので、設定を変更してください。

< 標準TCP/IPポートモニタの構成のデフォルト画面 >

標準 TCP/IP ポート モニタの構成

ポートの設定

ポート名(P): IP 192.168.1.254

プリンタ名または IP アドレス(A): 192.168.1.254

プロトコル

Raw(R) LPR(L)

Raw 設定

ポート番号(N): 9100

LPR 設定

キュー名(Q):

LPR バイト カウントを有効にする(B)

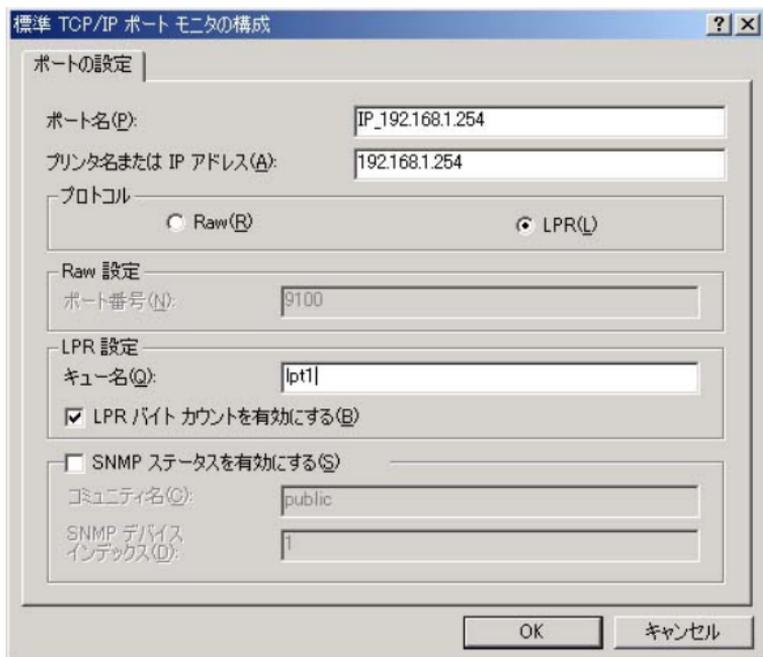
SNMP ステータスを有効にする(S)

コミュニティ名(C): public

SNMP デバイス
インデックス(I): 1

OK キャンセル

Standard TCP/IP (LPR) の場合



プロトコル ……RAW LPR、キュー名:lpt1に変更してください。
「LPRバイトカウントを有効にする」にチェックをしてください。

注意 "SNMPステータスを有効にする"機能には対応していませんので、
チェックしないでください。

「OK」をクリックすると、「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザードの完了」画面が表示されます。

Standard TCP/IP(ポート9100)の場合

標準 TCP/IP ポート モニタの構成

ポートの設定

ポート名(P): IP_192.168.1.254

プリンタ名または IP アドレス(A): 192.168.1.254

プロトコル

Raw(R) LPR(L)

Raw 設定

ポート番号(N): 9100

LPR 設定

キュー名(Q): lpt1

LPR バイト カウントを有効にする(B)

SNMP ステータスを有効にする(S)

コミュニティ名(C): public

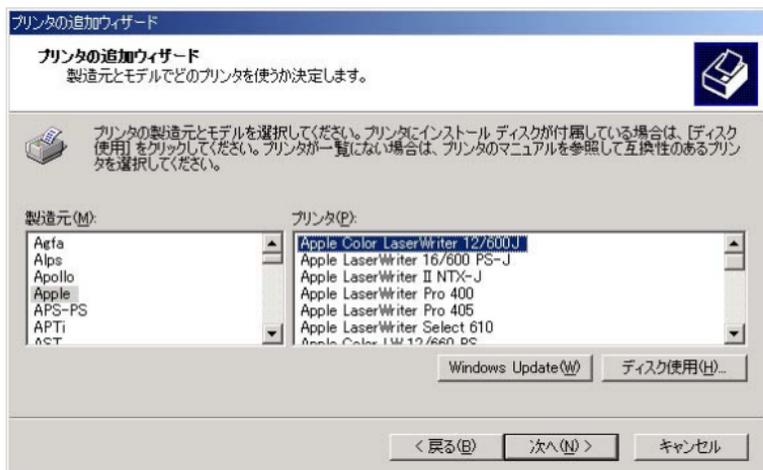
SNMP デバイス
インスタンス(I): 1

OK キャンセル

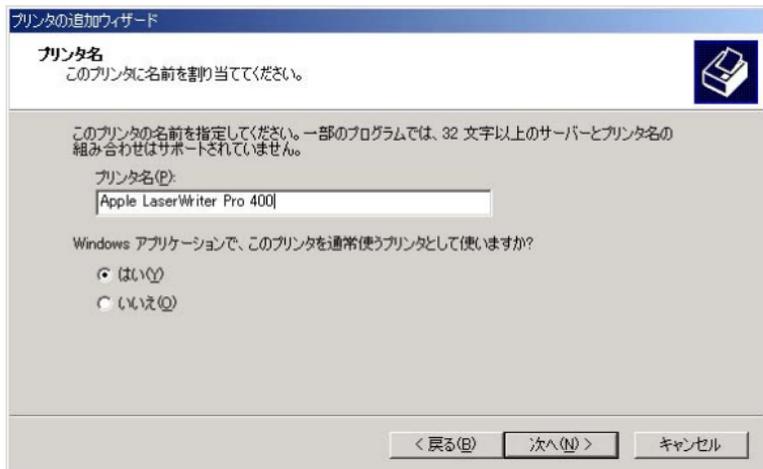
標準TCP/IPポートモニタの構成のデフォルト画面から、「OK」をクリックすると、「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザードの完了」画面が表示されます。

注意 "SNMPステータスを有効にする"機能には対応していませんので、チェックしないでください。RAW(Port9100)機能は、片方向通信(送信)のみ対応しています。

8. 設定を行った内容が表示されますので間違いがないか確認して、「完了」をクリックしてください。



9. 「プリンタの追加ウィザード」が表示されますので、GW-PS01U に接続しているプリンタのドライバを選択し「次へ」をクリックします。



10. 任意のプリンタ名を設定し、通常使用するプリンタに設定する場合は「はい」を選択して「次へ」をクリックします。
11. プリンタの共有設定を行う画面が表示されますので、必要に応じて設定して「次へ」をクリックしてください。
12. テストページの印刷画面が表示されますので、テストページ印刷を行う場合は「はい」にチェックをして、「次へ」をクリックしてください。
13. 正常にプリンタが作成された場合は、次のような画面が表示されますので「完了」をクリックしてください。これでプリンタの作成は終了です。



プリンタの共有について

作成したプリンタを共有したい場合の使用法を説明します。

- 1.共有するプリンタを選択し、「右クリック」「共有」を選択します。
- 2.共有のプロパティを選択し、共有するにチェックを入れ、共有名を入力し、「OK」をクリックしてください。これで、プリンタの共有は完了です。



- 3.次に、共有化したプリンタに他のPCからアクセスできるように、ユーザを作成します。コントロールパネルの中のユーザとパスワードを開きます。

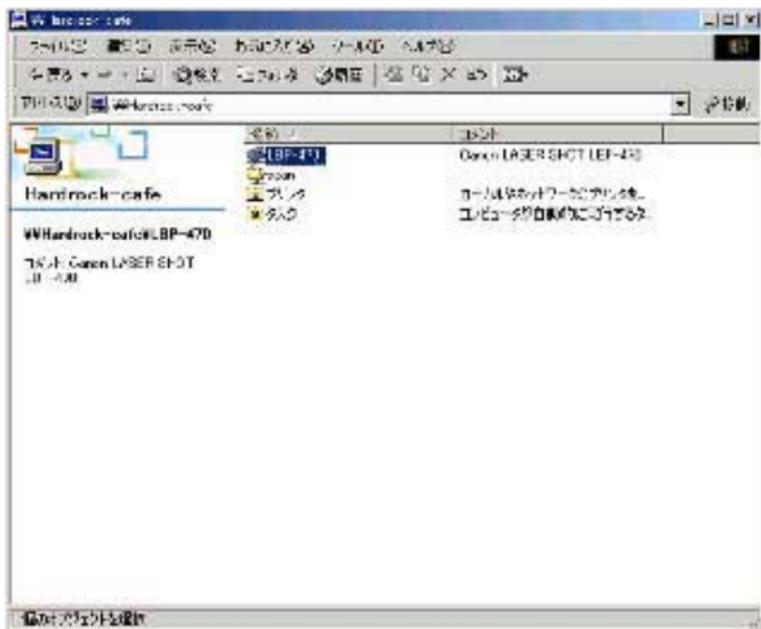


4. 「追加」をクリックして任意のユーザ名の入力、パスワードの設定、権限の設定(例は標準ユーザ)を行ってください。



「GW-PS01U」という名前のユーザが追加されました。他のPCから共有したプリンタへアクセスする場合にはここで作成したユーザ名にてアクセスすることになります。

- 5.共有化したプリンタを持つPCにアクセスすると、他の共有フォルダとともに、プリンタが表示されます。



- 6.共有プリンタを使用するには、プリンタを右クリックし、開くを選択すると、共有プリンタにアクセスし次のような画面が表示されますので、「はい」をクリックしてください。



- 7.プリンタを検索し正常に認識されるとプリンタが追加されます。名前は、「共有名-PC名」となります。これで、他のローカルプリンタと同様に使用することが可能となります。



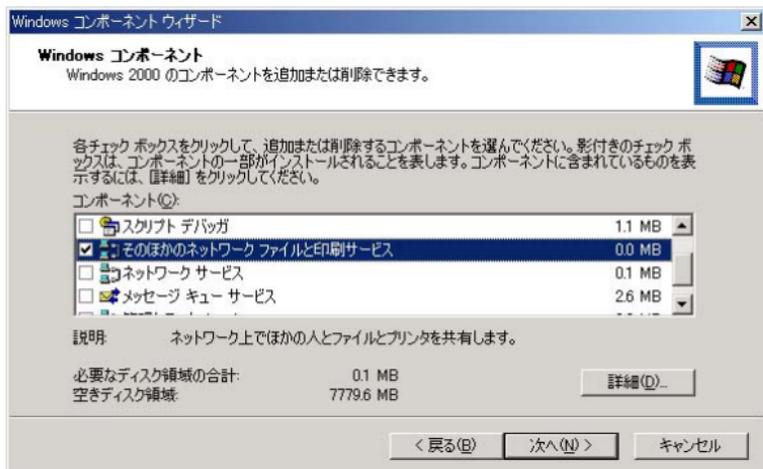
LPR PORTを有効にする方法について

WindowsNTでサポートしているLPR PORTの機能を使用する必要がある場合(UNIX用印刷サービスを使用する必要がある場合)にのみ参照ください。

注意 LPR PORTは、WindowsNTでサポートしていたLPRモニタのため複数ジョブ印刷(11以上の印刷ジョブがプリントマネージャ上に存在している場合)時に、11個の印刷ジョブを処理する毎に、Windows2000(NT)から一定時間印刷要求を行わない問題が発生しますので、通常は、Standard TCP/IP(LPR)を使用してください。

- 1.Windows2000上で、「スタート」「設定」「コントロールパネル」を実行し、「アプリケーションの追加と削除」を起動します。
- 2.「Windowsコンポーネントの追加と削除」を選択し、表示された画面で「コンポーネント」をクリックします。

3. 「Windowsコンポーネントウィザード」が表示されますので、「その他のネットワークファイルと印刷サービス」をチェックします。



4. 「詳細」をクリックし、「UNIX用印刷サービス」にチェックを入れて「OK」をクリックします。正常に終了すると、「Windowsコンポーネントウィザードの完了」が表示されます。これで、「LPR PORT」を有効にする設定は完了です。



注意 「UNIX用印刷サービス」は、「スタート」「設定」「ネットワークとダイヤルアップ接続」の中の、「ローカルエリア接続」の設定で、「インターネットプロトコル (TCP/IP)」が組み込まれていないと表示されません。

4. LANManager (TCP/IP)

この章では、プリントサーバGW-PS01UのLANManager環境での設定手順について説明します。

GW-PS01Uは、95/98/NT/2000のLANManagerネットワーク環境でネットワークプリントサーバとして使用できます。LAN Managerは、その下位のプロトコルとしてTCP/IP、NetBEUI、IPXなどが選択できます。GW-PS01UはこのうちTCP/IPに対応しています。

注意 Windows95/98/Me/NT/2000ではOSパッケージに標準で付属する機能で使用できます。

1. 概要

GW-PS01UをLANManagerで使用するには、GW-PS01U本体の設定とクライアントのWindowsの設定を行います。

1.1. GW-PS01U本体の設定

GW-PS01UをLANManagerで使用するには次の設定が必要です。

ホスト名(半角英数字15文字以内)

ネットワーク上でのGW-PS01Uの名称を指定してください。他の機器と同じ名前を使用することはできません。必ず固有の名前を指定してください。

ドメイン名(半角英数字15文字以内)

ドメイン管理をしていない場合は指定する必要がありません。Windows95/98/Me/NT/2000でドメイン管理をしている場合は、使用するドメイン名またはワークグループ名を指定してください。

注意 ホスト名、ドメイン/ワークグループ名は、下記の半角記号は入力禁止文字なので、使用しないでください。

"(ダブルクォーテーション) =(イコール) !(パイプ) ¥(円マーク) +(プラス) ;(セミコロン) *(アスタリスク) :(コロンの) 【(大カッコ右)】 [(大カッコ左)] ,(カンマ) <(不等号大なり) >(不等号小なり) ? (クエスチョンマーク)

プロトコル選択

LANManagerで使用するプロトコルはTCP/IPが選択されています。

WINSの使用可否

WINSを使用する場合に、Enableにしてください。

WINSをサポートしている環境では、WINSを有効にすることでGW-PS01Uが起動時にWINSデータベースにホスト名とそのIPアドレスが自動的に登録され、ネットワーク内での名前の重複をさけることを可能にします。

ネットワーク上にWINSサーバが存在しない場合は、有効にする必要はありません。

ルータを越えた印刷を行う場合には、ゲートウェイアドレスとサブネットマスクを正しく設定する必要があります。

WINSを使用する場合には、WINSサーバのIPアドレスを設定する必要があります。

注意 DHCPを使用してWINSサーバのIPアドレスを取得する場合は設定する必要はありません(この場合には、DHCPを有効にする必要があります)。ただし、DHCPが有効であるにも関わらず、WINSサーバのIPアドレスを取得できない場合があります。この場合は、WINSサーバのIPアドレスを直接設定する必要があります。

LANManagerの使用可否

LANManagerを使用する設定にします。

以上の項目を設定するには、付属のSetupWizardブラウザを使用します。設定の方法は「第6章 設定ユーティリティの使用方法」をご覧ください。

工場設定時には全てデフォルトの値が設定されています。

GW-PS01Uのデフォルト名は本体の背面に記載されている8桁の英数字(PSxxxxxx)です。

例えば、デフォルト名がPS001234であった場合、LANManagerの各設定項目のデフォルト値は次のようになります。

例)

ホスト名	PS001234
ドメイン名	< NOT SET >
プロトコル	TCP/IP
WINS	DISABLE
WINS SERVER IP ADDRESS	255.255.255.255
LANManager	ENABLE

1.2. Windows95/98/Meでの使用方法

1. 「スタート」メニューから「設定」の中の「コントロールパネル」を開きます。
2. 「ネットワーク」を選択します。
次の2つの項目が表示されていることを確認してください。項目が表示されない場合は、「追加」を選択してインストールしてください。

Microsoftネットワーククライアント

TCP/IPを使用する場合はTCP/IP->LANアダプタ名

3. 「使用するプロトコル->LANアダプタ名」を選択します。
4. TCP/IPを使用する場合は「プロパティ」を選択します。「IPアドレス」のタブを選択し、IPアドレスとサブネットマスクが正しく設定されているか確認してください。

注意 サブネットマスクはGW-PS01Uの設定と同じであることを確認してください。

「IPアドレスを自動的に取得」をチェックしている場合はDHCPサーバが必要です。

「WINSの解決をする」をチェックしている場合は、WINSサーバが必要です。

- 5.次に、「バインド」を選択し、「Microsoftネットワーククライアント」がチェックされていることを確認してください。チェックされていない場合は、チェックしてください。
- 6.「OK」を選択すると「ネットワーク」に画面が戻ります。さらに [OK]を選択すると、設定を変更していない場合は「コントロールパネル」に画面が戻りますので次に進んでください。設定を変更した場合は、Windows95/98/Meを再起動するかどうかの選択画面が現れますので再起動してください。
- 7.「スタート」メニューから「設定」の中の「プリンタ」を開きます。
- 8.「プリンタの追加」を選択するとプリンタウィザードが起動します。
- 9.「次へ」を選択し「ネットワークプリンタ」をチェックします。

10. 「次へ」を選択し、ネットワークパスを入力します。

ネットワークパスは「¥¥ホスト名¥¥プリンタ名」の形式になります。GW-PS01UとWindows95/98/Meマシンに同じドメインまたはワークグループを設定してある場合は、「参照」をクリックするとネットワーク上のGW-PS01Uを参照できるので、表示されるリストから選択できます。

WINSを使用すると、ルータを越えたネットワーク上のGW-PS01Uを参照することができます。その際には、WINSサーバのIPアドレスを設定する必要があります。また、DHCPを使用してWINSサーバのIPアドレスを取得する場合には、WINSサーバのIPアドレスを設定する必要はありません。

参照できない場合は直接入力してください。プリンタ名として指定できるのは、「PS-LPT1」です。

例) ホスト名「PS001234」の場合

¥¥PS001234¥¥PS-LPT1

注意 ネットワーク上にWINSサーバが存在し、WINSをサポートしている必要があります。ルータを越えた印刷を行う場合には、サブネットマスクとゲートウェイアドレスを正しく設定する必要があります。WINSを使用する場合には、下位プロトコルはTCP/IPを選択してください。

ネットワークパスを直接入力した場合、プリンタ作成後にプリンタがオフライン作業になっていますのでクリアしてください。(プリンタアイコンを右クリックして確認できます)

11.「次へ」を選択します。

このとき、指定したGW-PS01Uの電源が入っていなかったり、プリンタが印刷可能でなかったりすると警告が表示されます。プリンタの作成には支障ありませんので、GW-PS01Uのホスト名とプリンタ名が正しいかどうかを確認して「次へ」を選択してください。プリンタ製造元とプリンタを選択します。

12.「次へ」を選択し、次画面に進み、プリンタ名を入力します。ここで入力するプリンタ名は自由に設定できますので、ユニークな名前を入力してください。

13.「次へ」を選択し、次画面に進むと、テスト印刷の画面になります。

注意 GW-PS01Uにプリンタを接続していないと、テスト印刷ができないため「次へ」の部分が「完了」と表示されますのでクリックしてください。

14.ここでテスト印刷する時は「はい」をチェックします。プリンタ作成後でもテスト印刷できますので、テスト印刷をしない時は「いいえ」をチェックします。

15.「完了」を選択すると、プリンタが作成されます。

以上で、Windows95/98/Meの設定は完了です。アプリケーションから印刷すると、ネットワーク上のGW-PS01Uに接続されたプリンタから印刷できます。

1.3. WindowsNT4.0での使用方法

1.「スタート」メニューから「設定」の中の「コントロールパネル」を開きます。

2.ネットワークを選択します。

以下の項目が組み込まれていることを確認してください。組み込まれていないものがあれば組み込んでください。

a)「アダプタ」タブを選択し、LANアダプタが組み込まれていることを確認します。

b)「サービス」タブを選択し、「コンピュータブラウザ」、「サーバ」、「ワークステーション」が組み込まれていることを確認します。

3.TCP/IPを使用する場合は「プロトコル」タブの中のTCP/IPプロトコルを選択し、「プロパティ」を選択します。「IPアドレス」のタブを選択し、IPアドレスとサブネットマスクが正しく設定されているか確認します。

注意 サブネットマスクはGW-PS01Uの設定と同じにしてください。

「IPアドレスを自動的に取得」をチェックしている場合はDHCPサーバが必要です。

「WINSの解決をする」をチェックしている場合は、WINSサーバが必要です。

- 次に、ネットワーク画面の「バインド」タブを選択し、「サーバ」、「ワークステーション」のサービスが有効となっていることを確認します。
- すべての設定確認が終了したら「OK」をクリックします。設定変更がある場合はWindowsNT4.0を再起動するかどうかの選択画面が現れますので再起動してください。
- 「スタート」メニューから「設定」の中の「プリンタ」を選択します。そこで、「プリンタの追加」をダブルクリックしプリンタウィザードを起動します。
- 「次へ」を選択し、「ネットワークプリンタサーバ」をチェックします。

8.「次へ」を選択し、ネットワークパスを入力します。

ネットワークパスは「¥¥ホスト名¥¥プリンタ名」の形式になります。GW-PS01UとWindowsNTマシンに同じドメインまたはワークグループを設定してある場合は、「参照」をクリックするとネットワーク上のGW-PS01Uを参照できるので、表示されるリストから選択できます。

WINSを使用すると、ルータを越えたネットワーク上のGW-PS01Uを参照することができます。その際には、WINSサーバのIPアドレスを設定する必要があります。また、DHCPを使用してWINSサーバのIPアドレスを取得する場合には、WINSサーバのIPアドレスを設定する必要はありません。

参照できない場合は直接入力してください。プリンタ名として指定できるのは、「PS-LPT1」です。

例) ホスト名「PS001234」の場合

¥¥PS001234¥¥PS-LPT1

注意 ネットワーク上にWINSサーバが存在し、WINSをサポートしている必要があります。ルータを越えた印刷を行う場合には、サブネットマスクとゲートウェイアドレスを正しく設定する必要があります。WINSを使用する場合には、下位プロトコルはTCP/IPを選択してください。

クライアントとGW-PS01Uのドメイン名もしくはワークグループ名が異なると参照することはできません。 ネットワークパスを直接入力した場合、プリンタ作成後にプリンタがオフライン作業になっていますのでクリアしてください。(プリンタアイコンを右クリックして確認できます)

9.「次へ」を選択し、次の画面に進みます。

このとき、指定したGW-PS01Uの電源が入っていなかったり、プリンタが印刷可能でなかったりすると警告が表示されます。プリンタの作成には支障ありませんので、GW-PS01Uのホスト名とプリンタ名が正しいかどうかを確認して「次へ」を選択してください。プリンタ製造元とプリンタを選択します。接続されているプリンタが見つからない場合は、プリンタに付属のドライバをご使用ください。

注意 プリンタドライバのインストール方法はプリンタのマニュアルをご覧ください。

10.プリンタ名を入力する画面では、判別しやすい名前を入力します。
(WindowsNT4.0上でのプリンタ名になります。)

11.続いて、テスト印刷の画面でテスト印刷をする時は「はい」をチェックします。プリンタ作成後でもテスト印刷できますので、テスト印刷をしない時は「いいえ」をチェックします。

12.「完了」を選択すると、プリンタが作成されます。

以上で、WindowsNT4.0の設定は完了です。アプリケーションから印刷すると、ネットワーク上のGW-PS01Uに接続されたプリンタから印刷できます。

1.4. Windows2000での使用方法

1.「スタート」メニューから「設定」の中の「コントロールパネル」を開きます。

2.「ネットワークとダイヤルアップ接続」を開き、「ローカルエリア接続」の「プロパティ」を開きます。

以下の項目が組み込まれていることを確認してください。組み込まれていないものがあれば組み込んでください。

a) TCP/IPを使用する場合は「インターネット プロトコル (TCP/IP)」が組み込まれていることを確認します。

b) 「Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有」が組み込まれていることを確認します。

3. TCP/IPを使用する場合は「インターネット プロトコル (TCP/IP)」の「プロパティ」を開き、IPアドレスとサブネットマスクが正しく設定されているか確認します。

注意 サブネットマスクはGW-PS01Uの設定と同じにしてください。

「IPアドレスを自動的に取得」をチェックしている場合はDHCPサーバが必要です。「詳細設定」の「WINS」タブで、WINSサーバのIPを追加している場合には、WINSサーバが必要です。

- 4.すべての設定確認が終了したら「OK」をクリックします。設定変更がある場合はWindowsNT4.0を再起動するかどうかの選択画面が現れますので再起動してください。
- 5.「スタート」メニューから「設定」の中の「プリンタ」を選択します。そこで、「プリンタの追加」をダブルクリックしプリンタウィザードを起動します。
- 6.「次へ」を選択し、「ネットワークプリンタサーバ」をチェックします。
- 7.「次へ」を選択し、ネットワークパスを入力します。
ネットワークパスは「¥¥ホスト名¥¥プリンタ名」の形式になります。WINSを使用すると、ルータを越えたネットワーク上のGW-PS01Uを参照することができます。その際には、WINSサーバのIPアドレスを設定する必要があります。また、DHCPを使用してWINSサーバのIPアドレスを取得する場合には、WINSサーバのIPアドレスを設定する必要はありません。
参照できない場合は直接入力してください。プリンタ名として指定できるのは、「PS-LPT1」です。

例) ホスト名「PS001234」の場合

¥¥PS001234¥¥PS-LPT1

注意 ネットワーク上にWINSサーバが存在し、WINSをサポートしている必要があります。ルータを越えた印刷を行う場合には、サブネットマスクとゲートウェイアドレスを正しく設定する必要があります。WINSを使用する場合には、下位プロトコルはTCP/IPを選択してください。

ネットワークパスを直接入力した場合、プリンタ作成後にプリンタがオフライン作業になっていますのでクリアしてください。(プリンタアイコンを右クリックして確認できます)

8.「次へ」を選択し、次の画面に進みます。

このとき、指定したGW-PS01Uの電源が入っていなかったり、プリンタが印刷可能でなかったりすると警告が表示されます。プリンタの作成には支障ありませんので、GW-PS01Uのホスト名とプリンタ名が正しいかどうかを確認して「次へ」を選択してください。プリンタ製造元とプリンタを選択します。接続されているプリンタが見つからない場合は、プリンタに付属のドライバをご使用ください。

注意 プリンタドライバのインストール方法はプリンタのマニュアルをご覧ください。

9.プリンタ名を入力する画面では、判別しやすい名前を入力します。(Windows2000上でのプリンタ名になります。)

10.続いて、テスト印刷の画面でテスト印刷をする時は「はい」をチェックします。プリンタ作成後でもテスト印刷できますので、テスト印刷をしない時は「いいえ」をチェックします。

11.「完了」を選択すると、プリンタが作成されます。

以上で、Windows2000の設定は完了です。アプリケーションから印刷すると、ネットワーク上のGW-PS01Uに接続されたプリンタから印刷できます。

2. LANManagerで使用する場合の注意点

- 1.TCP/IPでLANManagerを使用する場合、サブネットマスクを正しく設定していないと、GW-PS01Uに接続できなかつたり、GW-PS01Uのサポートしているプリンタが見えなかつたりする場合があります。

対策 GW-PS01UとクライアントPCのサブネットマスクを同じ数値に設定してください。

- 2.WindowsのプリントマネージャでGW-PS01Uに接続したプリンタのステータスを確認できます。ただし、他のクライアントがこのGW-PS01UにLANManagerで印刷していたり、状態を取得している時は、ステータスを確認できません。またステータスを確認している時は、このGW-PS01UにLANManagerで印刷できません。またLANManagerの仕様により同時印刷を行うと、エラーになり、印刷できません。

対策 他のクライアントのアクセスが終了するまでお待ちください。

- 3.GW-PS01Uのホスト名を変更した時に、GW-PS01Uを再起動した後でも変更前のホスト名が参照できることがあります。

対策 ブラウズマスタに古い情報が残った状態です。特に障害はありません。しばらくすると、情報が更新されて古い情報は消えます。

4. プリンタがオフライン・紙切れ・紙詰まりなどの場合、Windows95/98/Me/NT/2000にエラーが表示される場合があります。この場合、ジョブがキャンセルされることがあります。

対策 プリンタトラブルを解消後、再度印刷を実行してください。

- 5 GW-PS01Uの電源投入時やリセット時、他のクライアントの印刷中などに、Windows95/98/Meのプリントマネージャに状態不明と表示される場合があります。

対策 GW-PS01Uとプリンタがレディ状態であることを確認し、Windows95/98/Meのプリントマネージャで状態更新をしてください。

- 6 印刷中や状態取得中など、GW-PS01Uとの通信中にクライアントPCがダウンした場合、GW-PS01Uから印刷できなくなることがあります。

対策 GW-PS01Uの電源を入れ直してください。

7. WINSを使用する場合に、ルータを越えた先のGW-PS01Uに接続できない場合があります。

対策 GW-PS01UとクライアントPCのゲートウェイアドレスを同じ数値に設定してください。クライアントPCを「WINSの解決をする」にチェックを入れてWINSサーバのIPアドレスを設定してください。GW-PS01UにWINSサーバのIPアドレスが正しく設定されているかどうかを確認ください。WINSサーバが正しく動作しているかどうかを確認ください。

5. 設定ユーティリティの使用方法

1. 概要

この章では、プリントサーバGW-PS01Uの動作環境を設定するためのユーティリティの使用方法について説明します。

GW-PS01Uを設定するために使用するユーティリティは、GW-PS01U付属のCD-ROM内に含まれています。なお、本マニュアル内には、ユーティリティ毎にプログラムが含まれているフォルダ名を記載していますので、必要に応じて参照願います。

GW-PS01Uの動作環境の設定は以下のユーティリティで行えます。

1. Setup Wizard (GW-PS01U付属のセットアップウィザード)
2. ブラウザ (Netscape・Internet Explorer など)

これらの設定ユーティリティを使用することによって次の設定が行えます。

TCP/IPの設定

TCP/IP環境での設定については「第3章 TCP/IP」をご覧ください。

LANManagerの設定

ホスト名、ドメイン名、タイムサーバ名、WINS、WINS SERVER IP ADDRESSの設定が行えます。LANManagerの設定については、「第4章 LANManager」をご覧ください。

無線の設定

通信モード、SSID、チャンネル、WEP(暗号化)の設定が行えます。

その他

GW-PS01U本体内蔵のFLASH ROMとBOOT ROMのファームウェア・バージョン情報の表示、エラー情報表示/クリア、GW-PS01U本体のハードウェアリセット、バージョンアップ等の操作が行えます。

2. ブラウザ

ブラウザを起動し、接続先のアドレスにGW-PS01Uに設定したIPアドレスを入力して接続します。

注意

対応ブラウザ

Netscape Navigator 3.0以降/ インターネットエクスプローラ 3.0以降
ブラウザでご使用になる場合は、予めGW-PS01UにIPアドレスを設定しておく必要があります。

ネットワーク上に、入力したIPアドレスを持つGW-PS01Uが存在している場合、次のような画面が表示されます。

例) <http://192.168.1.228>

192.168.1.228 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(I) ツール(O) ヘルプ(H)

アドレス http://192.168.1.228/

PCI PLANEX COMMUNICATIONS INC.

SmartWave Printserver Wireless Configuration

プリントサーバ情報 無線LANインフォメーション 印刷ログ 通信プロトコル設定 無線LAN設定 詳細設定 パスワードの変更 ファームウェアの更新 プリントサーバの再起動

プリントサーバ情報

GW-PS02	ファームウェアバージョン:	B1.04 (1603) / 2001-11-12
	ブートROMバージョン:	1.00 (1603) / 2001-6-18
	ホスト名:	PS039621
	ハードウェアアドレス:	0090C-C039621
	IPアドレス:	192.168.1.228
	ワイヤレス接続ステータス:	接続中 (インフラストラクチャ)
	WEP/ノックアウト:	無効
	現在使用中のSSID:	test
	現在使用中のチャンネル:	11
	現在のデータ転送スピード:	11 Mbps
	送信/受信バケット数:	4348 / 265
	稼働時間:	0 days 01:01:25
	送信元:	
	送信場所:	
	エラーステータス:	FF FF FF FF FF FF (初期化する)

自動更新の間隔: [無効] 秒 [更新] 最新の情報に更新

この画面ではネットワークの設定、プリントサーバの設定、パスワードの設定を行うことができます。

プリントサーバ情報：

GW-PS01Uに設定されている情報接続されているプリンタの情報が表示されます

The screenshot shows a web browser window displaying the 'Printserver Wireless Configuration' page for a device named 'GW-PS02'. The page has a blue header with the 'SmartWave' logo and 'PLANEX COMMUNICATIONS INC.' text. Below the header, there are three main navigation tabs: 'プリントサーバ情報' (Printer Information), '通信プロトコル設定' (Communication Protocol Settings), and 'パスワードの変更' (Change Password). Under the 'プリントサーバ情報' tab, there are sub-sections for '無線LANインタフェース情報' (Wireless LAN Interface Information), '印刷ログ' (Print Log), and 'プリンタの再起動' (Restart Printer). The main content area is titled 'プリントサーバ情報' and lists various system parameters for the GW-PS02 device.

プリントサーバ情報	
ファームウェアバージョン:	E1 04 (1803) / 2001-11-12
ブートROMバージョン:	1.00 (1803) / 2001-6-18
ホスト名:	PS039821
ハードウェアアドレス:	0090CC039821
IPアドレス:	192.168.1.220
ワイヤレス接続ステータス:	接続中 (インフラストラクチャ)
WEPリンクエラー:	無効
現在使用中のSSID:	test
現在使用中のチャンネル:	11
現在のデータ転送スピード:	11 Mbps
送信/受信パケット数:	4349 / 265
稼働時間:	0 days 01:01:25
送信先:	
送信場所:	
エラーステータス:	FF FF FF FF FF FF (詳細化する)

自動更新の間隔: [無効] 秒 [最新の情報を更新]

自動更新の間隔

無効・5・10・30・60・300秒のうちから選択し変更することが可能です

通信プロトコル設定

TCP/IP・LAN Managerの設定・変更ができます



IPアドレスの設定変更

ご使用になる環境にて手動設定・DHCP・BOOTP・RARPから選択します

ARP+PINGによるIPアドレス設定

ご使用になる環境に合わせて有効/無効を選択します

IPアドレス

IPアドレスの設定変更で手動設定を選択した場合入力します

サブネットマスク

IPアドレスの設定変更で手動設定を選択した場合入力します

ルータIPアドレス

IPアドレスの設定変更で手動設定を選択した場合入力します

マイクロソフトネットワークプリンタ共有

LANマネージャを有効/無効にする:

LANマネージャの環境下でGW-PS01を使用する/しないを設定できます。(無効/有効(TCP/IP)/有効(NETBEUI))

ホスト名

ネットワークで本体を識別するホスト名を設定できます。他の機器と同じ名前を使用することはできません。必ず固有の名前を指定してください。(半角英数字最大15文字以内)

ワークグループ

GW-PS01Uが属するドメイン名を設定できます。

Windows95/98/Me/NTでドメイン管理をしている場合は、使用するドメイン名またはワークグループ名を指定してください。(半角英数字最大15文字以内)

WINS サーバ IP アドレス

WINSを使用する場合には、WINSサーバのIPアドレスを設定する必要があります。

注意 DHCPを使用してWINSサーバのIPアドレスを取得する場合は設定する必要はありません。(この場合には、DHCPを有効にする必要があります)ただし、DHCPが有効であるにも関わらず、WINSサーバのIPアドレスを取得できない場合があります。この場合は、WINSサーバのIPアドレスを直接設定する必要があります。

コミュニティ名(管理者用)

管理用のコミュニティ名を設定することができます

コミュニティ名

任意のコミュニティ名を設定することができます

GW-PS01UのSNMP環境の設定を変更することができます。

注意 コミュニティをすべて変更すると、SetupWizardでネットワーク上のGW-PS01Uが検索できなくなります。ただし、「ターゲット指定」画面にてPSxxxxxxを手入力すれば設定は可能です。 管理用コミュニティ名は設定変更時のみ表示されます。

設定更新

設定変更した項目を更新します

再読み込み

設定変更前の項目を読み込みします

工場出荷時設定に戻す

工場出荷時設定に戻すことができます。

パスワード変更

GW-PS01Uログイン・設定変更時のときのパスワードを変更できます



無線LANインターフェイス情報

GW-PS01Uの無線の通信状態が表示されます

The screenshot shows a web browser window displaying the 'Printserver Wireless Configuration' page. The page has a blue header with the 'PCI' logo and 'PLANEX COMMUNICATIONS INC.' text. Below the header is a yellow banner with the 'Smart Wave' logo and the title 'Printserver Wireless Configuration'. The main content area has three navigation tabs: 'プリンタサーバ情報' (Printer Server Information), '通信プロトコル設定' (Communication Protocol Settings), and 'パスワードの変更' (Change Password). The 'プリンタサーバ情報' tab is selected, showing a sub-tab '無線LANインタフェース情報' (Wireless LAN Interface Information). Below this is a table titled '無線LAN-インタフェース情報' (Wireless LAN-Interface Information) with two columns of statistics. At the bottom right of the table area is a button labeled '最新の情報と更新' (Latest Information and Update).

無線LAN-インタフェース情報			
送信ユニキャストフレーム数	310	受信ユニキャストフレーム数	213
送信マルチキャストフレーム数	0	受信マルチキャストフレーム数	71737
送信フラグメント数	342	受信フラグメント数	71960
送信ユニキャストバイト数	112943	受信ユニキャストバイト数	26054
送信マルチキャストバイト数	0	受信マルチキャストバイト数	5035703
送信遅延発生回数	495	受信フレームFCSエラー数	1552
送信トライ(1回目)フレーム数	106	受信フレーム破棄数(バッファ不足)	0
送信トライ(2回目)フレーム数	95	受信フレーム破棄数(不正送信元アドレス)	0
送信トライ(3回目)フレーム数	79	受信フレーム破棄数(WEPエラー)	0
送信フレーム廃棄数	0		

無線LAN設定

GW-PS01Uの無線の設定を変更できます



ワイヤレスモード

アドホックモード / 802.11アドホック / インフラストラクチャモードを切り替えることができます。

チャンネル

アドホックモード / 802.11アドホック時のチャンネルを設定できます。

SSID

インフラストラクチャモード / 802.11アドホック時のESSIDの値を設定できます

WEP リクエスト

暗号化を無効 / 有効 (OPEN) / 有効 (Shard) にすることができます。

WEP キー

WEPによる暗号化を行うための5桁の16進数を設定できます。

注意 アドホックモード時はチャンネル、インフラストラクチャーモード時はESSIDやWEP キーをご使用の環境に合わせて、設定を行ってください。誤って設定を行ってしまった場合には、TESTスイッチによる工場出荷時設定に戻さなければ、通信できなくなることがあります。

AirMacネットワークをご使用になられている場合、AirMacのWEP キーを変更できないため、予め調べたWEP キーに合わせてGW-PS01Uの暗号キーを設定してください。

設定更新

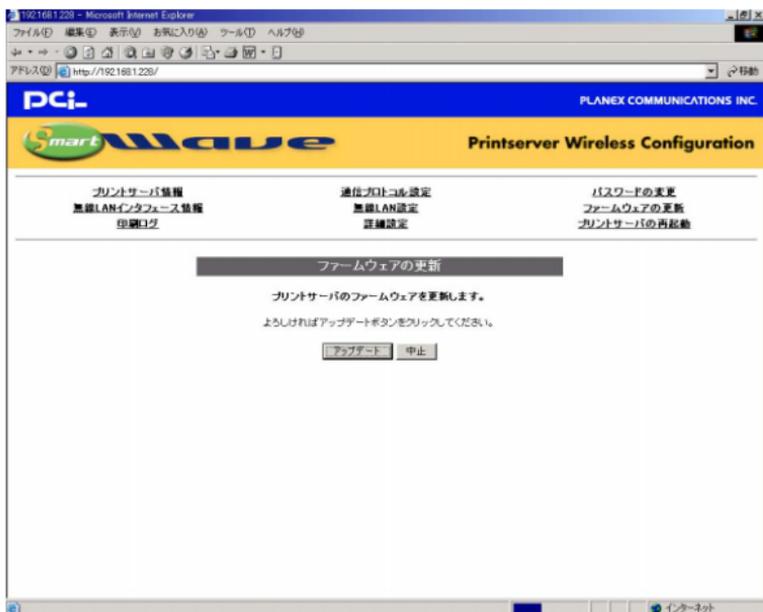
設定変更した項目を更新します

再読み込み

設定変更前の項目を読み込みします

ファームウェアの更新

GW-PS01Uのファームウェアの更新がおこなえます



印刷ログ

印刷したデータのログを見ることが出来ます。

詳細設定

GW-PS01Uに接続されているプリンタの設定・変更が出来ます。

192.168.1.226 - Microsoft Internet Explorer
ファイル 編集 表示 実行/入力 ヘルプ
アドレス http://192.168.1.226/

PLANEX COMMUNICATIONS INC.
Smart Wave Printserver Wireless Configuration

プリンタサーバ情報 無線LANインタフェース情報 印刷ログ
通信プロトコル設定 無線LAN設定 詳細設定
パスワードの変更 ファームウェアの更新 プリントサーバの再起動

詳細設定

GW-PS02 連絡先: PLANEX
設置場所:
印刷リダイレクト設定: 無効

デバイス1 プリンタ: 未接続
 設定初期化 LPRキュー名: prn1
TCP/IP RAWポート番号: 9101
マイクロナットネットワーク共有プリンタ名: port1
テストページの印刷:

デバイス2 プリンタ: 未接続
 設定初期化 LPRキュー名: prn2
TCP/IP RAWポート番号: 9101
マイクロナットネットワーク共有プリンタ名: port2
テストページの印刷:

デバイス3 プリンタ: 未接続
 設定初期化 LPRキュー名: prn3

ページが表示されました インターネット

- ・ 連絡先 ……………連絡先名称を入力することができます。
- ・ 設置場所 ……………GW-PS01Uを設置している場所を入力します。

- ・印刷リダイレクト設定 …「無効」「同一メーカーのプリンタにリダイレクトする」「同一モデムのプリンタにリダイレクトする」の中から一つ選択することができます(「無効」以外を選択する事により、印刷・に失敗した場合でもGW-PS01Uに接続されている「同一メーカーのプリンタ」「同一モデムのプリンタ」に再度データを出力をします。)
- ・プリンタ ……接続されているプリンタ名が表示されます。(デバイス1つに最大3台までプリンタ情報を保存できます。)
- ・LPRキュー名 ……プリンタに設定されているキュー名が表示されます。
- ・TCP/IP RAWポート番号 …RAWポート番号が選択できます。「9100」「9101」「9102」
- ・マイクロソフトネットワーク共通プリンタ名 ……共通時に表示するプリンタ名を入力できます。
- ・テストページの印刷 ……チェックボックスにチェックをつけ「設定更新」ボタンをクリックしますと、テスト院列が開始されます。(一回のみ)

プリントサーバの再起動

GW-PS01Uを再起動させることができます。

3. SetupWizard

SetupWizardはGW-PS01Uに付属の簡単セットアップウィザードです。GW-PS01Uを初めて設定する場合に設置されているネットワーク状況を自動認識し、設定に必要な入力項目をウィザード形式で順次指示することにより、設定作業の効率が大幅に向上しました。

注意 すでに設定済みのGW-PS01Uの設定変更を行うことも可能です。

動作環境

SetupWizardが動作するために必要な環境は次の通りです。

1.クライアントOS

Windows95/98/Me

WindowsNT4.0

Windows2000

注意 Windows95のBバージョン(OSR2版)以前の環境でご使用になる場合は、IE4.0をインストールする必要があります。Windows NT4.0にて使用する場合には、ServicePack3をインストールすることが最低必要です。推奨する環境としては、ServicePack4をインストールすることが望ましいです。WindowsNT3.51には対応していません。

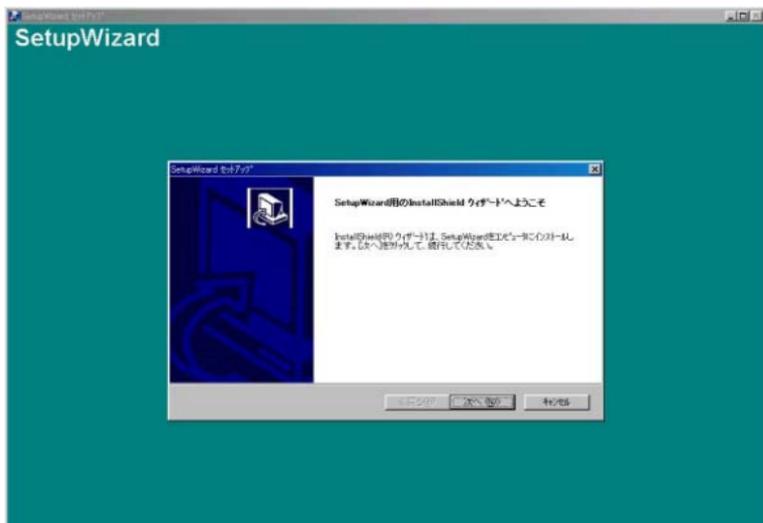
2.ネットワーク

TCP/IPプロトコル

3.1. SetupWizardのインストール

インストール手順

- 1.GW-PS01Uに付属のCD-ROMをドライブに挿入します。
- 2.フォルダ「SetupWizard」内の"SETUP.EXE"を実行します。



- 3.セットアップが起動したら最初の画面で[次へ]ボタンをクリックしてください。
- 4.ライセンス契約の画面が表示されますので、お読みの上すべての条項に同意いただける場合は「はい」をクリックしてください。

注意 「いいえ」をクリックするとインストールの中止を促すメッセージが表示されます。

5.次に、SetupWizardをインストールするディレクトリパスを指定してください。

注意 デフォルトでは"*C:¥Program Files¥Planex¥PLANEX GW-PS01U SetupWizard*"になっています。

インストール先の指定が終了したら[次へ]ボタンをクリックしてください。

6.必要なファイルをコピーし、プログラムグループ内に「SetupWizard」グループの登録を行います。

7.セットアップが正常に完了し、「セットアップの完了」という確認画面が表示されたら[完了]ボタンをクリックして、Readme.txtをご一読の上、ご使用願います。

3.2. SetupWizardの起動

SetupWizardを起動すると、ウィザードを起動したクライアントPCの設定を自動認識してネットワーク上のGW-PS01Uを検索します。検索方法としては、TCP/IP通信を使用してネットワーク上のGW-PS01Uを検索しますが、SetupWizardを起動するPCのネットワーク設定とそのPCが設置されているネットワーク環境によって検索方法及び設定可能な項目が異なります。

SetupWizardでは検索方法の内容を起動時にメッセージにて表示します。(検索方法の詳細は、検索方法を決定する環境一覧を参照ください)

注意 GW-PS01Uを初めてご使用いただく場合(工場出荷時設定に戻した場合)には、設定を行うPCの無線カードの設定を下記内容に設定変更を行う必要があります。

動作モード……アドホック

チャンネル……3

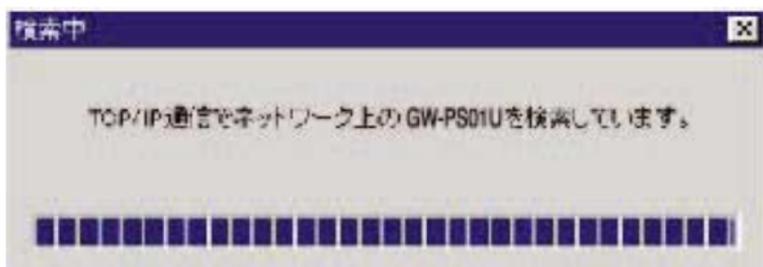
WEP ……………なし

Windows95/98/Me、WindowsNT 4.0、Windows2000での起動

[スタート]メニューから"プログラム" PLANEX GW-PS01U SetupWizard"SetupWizard"を選択します。

1.TCP/IP通信による検索

ネットワーク上のGW-PS01UをTCP/IP通信にて検索する場合、下の画面を表示します。



注意 TCP/IPで検索を実行した場合に、SetupWizardを起動しているPCと異なるGateway Address (=存在しないRouterのAddress)がGW-PS01Uに設定されている場合は、検索が行えません。この場合は、GW-PS01UのGateWayAddressを無効(255.255.255.255)に設定する/GW-PS01Uを初期化(test SW使用)する必要があります。

2.IPX/SPX通信による検索

注意 GW-PS01UはIPX/SPX未対応のため、検索および設定を行うことはできません。

3.3. セットアップ方法選択

SetupWizardを起動しネットワーク上のGW-PS01Uの検索を終了するとユーザの用途に合わせてセットアップ方法を選択することができます。



3.4. フルセットアップ

GW-PS01Uに対して、設定できる項目すべてを設定したい場合にはこの方法をご使用ください。

ご使用環境がSetupWizardを起動している環境と異なる場合には便利です。

「セットアップ方法選択」の画面で、「次へ」をクリックすると、「ターゲット指定」の画面が表示されます。



TCP/IP設定

IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定ができます。また、IPアドレスの取得方法として、RARP、BOOTP、DHCPを設定可能です。ARP+PINGでのIPアドレス設定の許可/不許可の設定が行えます。

TCP/IPの設定に関する詳細は、「第3章 TCP/IP」をご参照ください。



必要な項目を設定して、「次へ」をクリックすると「LAN Manager 設定」画面が表示されます。

注意 起動時にサーバからIPアドレスを取得する方法としてDHCP、RARP、BOOTPがありますが、RARP/BOOTPの場合はサーバが起動していない場合は前回起動したIPアドレスにて起動しますが、DHCPを有効時にDHCPサーバが起動していない場合は、定期的にDHCPサーバへのリクエストパケットを送出して、TCP/IPによる通信は行えませんのでご注意ください。動作IPアドレスの決定方法につきましては、「3.1.4 動作IPアドレスの決定手順」を参照ください。

LANManager設定

LAN Managerの設定を行えます。LAN Managerを使用する/使用しない、ホスト名、ワークグループドメイン名、WINSを使用する/使用しない、WINS Server IP Address(WINS使用時のみ)の設定ができます。LANManagerの設定に関する詳細は、「第4章 LANManager」をご参照ください。



必要な設定を行い「次へ」をクリックすると「SNMP設定」の画面が表示されます。

SNMP設定

プリントサーバのSNMPコミュニティ名を設定できます。



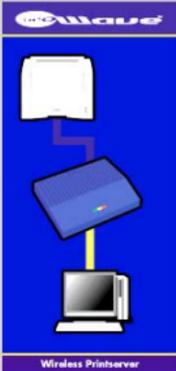
必要であれば設定を行い、「次へ」をクリックすると「ハードウェア設定」画面が表示されます。

注意 GW-PS01Uはトラップ機能には対応してないので、必ずグレーアウト表示されます。

ハードウェア設定

ハードウェア設定

プリントサーバのハードウェア設定を行います。



Wireless Printserver

デバイス1	プリンタ: EPSON PM-800C (S/Nva01299100614390PRINTER)
<input type="checkbox"/> 設定初期化	LPRキュー名: prn1
	TCP/IP RAWポート番号: 9100
	マイクロソフトネットワーク共有プリンタ名: port1
	テストページの印刷: <input checked="" type="checkbox"/>
デバイス2	プリンタ: 未接続
<input type="checkbox"/> 設定初期化	LPRキュー名: prn2
	TCP/IP RAWポート番号: 9101
	マイクロソフトネットワーク共有プリンタ名: port2
	テストページの印刷: <input checked="" type="checkbox"/>
デバイス3	プリンタ: 未接続
<input type="checkbox"/> 設定初期化	LPRキュー名: prn3
	TCP/IP RAWポート番号: 9102
	マイクロソフトネットワーク共有プリンタ名: port3
	テストページの印刷: <input checked="" type="checkbox"/>

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル ヘルプ

必要な設定を行い、「次へ」をクリックすると「無線設定」の画面が表示されます。

無線設定

WEPによる暗号化を行う場合には、WEPキーを登録する必要があります。

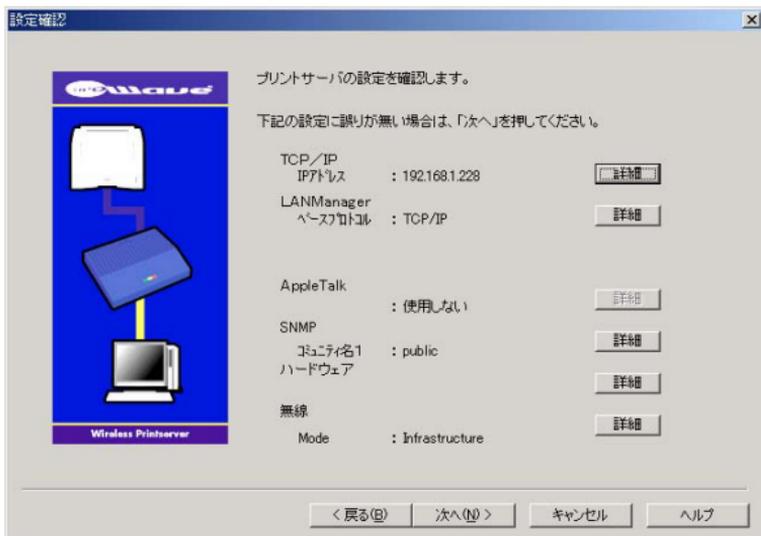
使用するWEPキーのモードを選択し、"Generate WEP Key"でキーを登録してください。また、802.11bにおける動作モードを"AdHoc"か"infrastructure"を選択し、SSIDやチャンネルを使用環境に合わせて設定します。



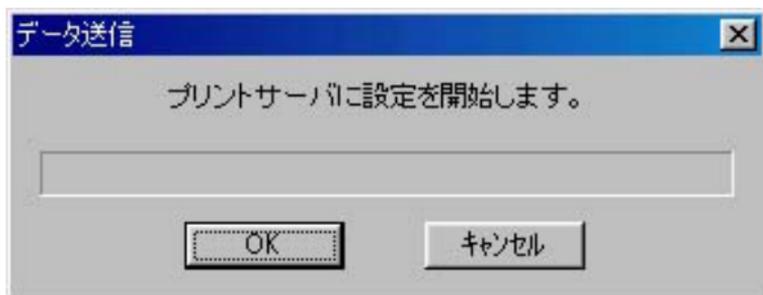
必要な設定を行い、「次へ」をクリックすると「設定確認」の画面が表示されます。

注意 SSIDや暗号キーをご使用の環境に合わせて、設定を行ってください。
誤って設定を行ってしまった場合には、TESTスイッチによる工場出荷時
設定に戻さなければ、通信できなくなることがあります。

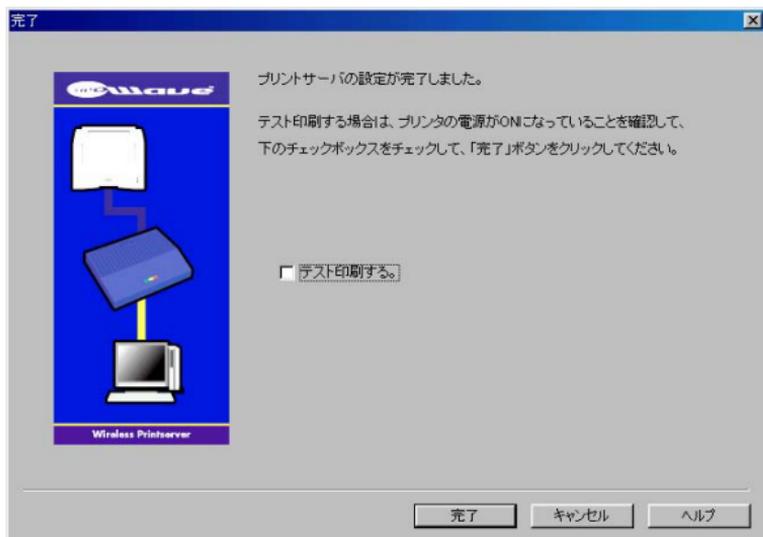
設定確認及びデータ転送及び完了



「設定確認」の画面が表示されたら、設定した項目に間違いがなければ「次へ」をクリックしてください。



「データ転送」の画面が表示されますので問題がなければ「OK」をクリックしてください。すると、GW-PS01Uにデータを転送して設定を行います。



設定が終了すると「完了」の画面が表示されます。テスト印刷が必要であればチェックを入れて「完了」をクリックしてください。これで、セットアップは終了です。

3.5. 標準セットアップ

SetupWizardを起動しているPCの設定を自動認識してユーザが最小限の入力でGW-PS01Uの設定を行うことができます。

設定可能な項目

3.6. 最小セットアップ

GW-PS01Uを最低限の設定のみでご使用になられる場合にはこの方法でセットアップを実行してください。

設定可能な項目

- ・ TCP/IP環境の設定
- ・ 無線の設定

注意 IPアドレスは同一セグメントを指定してください。

4. LPrint98

LPrint98はMicrosoft Windows95/98/Meで弊社プリントサーバとピア・ツー・ピア印刷を行うためのユーティリティです。インストールを始める前にプリンタドライバをインストールされている事を前提とします。プリンタドライバのインストールの詳細については各プリンタメーカーのマニュアルをご覧ください。

特徴

- 1.Windows95/98/Meの標準プリントシステムの一部(ポートモニタ)として動作します。
- 2.印刷を開始した時に実行され、印刷が終了すると停止します。
- 3.印刷先のポート名を自由に設定し、複数の印刷先をわかりやすく整理できます。
- 4.異なる複数のプリンタへ同時に印刷することもできます。
- 5.プリンタの状態をモニタできます。

概要

- 1.LPRint98のインストール
- 2.ポートの設定
 - 2a.ポートの設定をLPRint98セットアッププログラムで行う場合
 - 2b.ポートの設定をプリンタのプロパティの詳細画面で行う場合
- 3.ポートの詳細設定
- 4.ポートの変更
- 5.ポートの削除
- 6.印刷のモニタおよび印刷の中止
- 7.EPSONインクジェットプリンタへの印刷注意点
- 8.LPRint98のアンインストール
- 9.トラブルシューティング

4.1. LPRint98のインストール

注意 LPRint98のインストールは他のアプリケーションをすべて終了してから行ってください。

- 1.LPRint98のインストールは付属のCD-ROMをドライブに挿入します。
- 2.スタートメニューの「ファイル名を指定して実行」を選択し、参照ボタンで「LPRint98」 「program.dsk」フォルダ内のSetup.exeを選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。



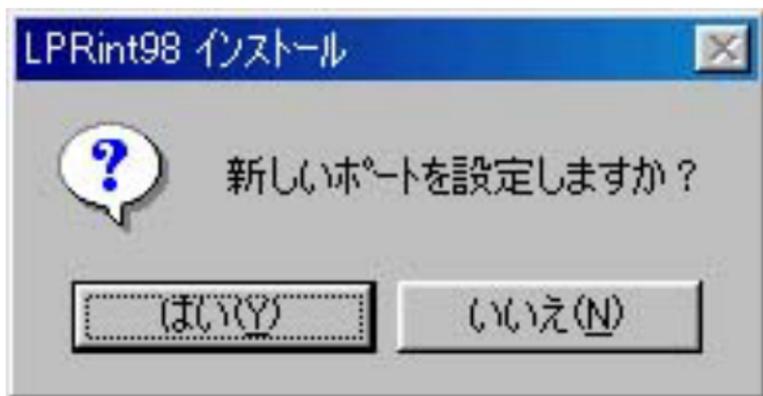
- 3.LPRint98のセットアッププログラムが起動したら、「インストール」ボタンをクリックします。



- 4.インストールを開始するには「はい(Y)」ボタンをクリックしてください。ファイルコピーがはじまります。



5. ファイルコピーの終了後、「OK」ボタンをクリックしてください。



6. セットアップ完了後、新規にLPRint98ポートを設定することができます。通常は「はい(Y)」をクリックしてください。

注意 「いいえ(N)」をクリックした場合は「LPRint98のセットアップ」ダイアログボックスの「終了」ボタンをクリックしてから、Windows95/98/Meの再起動を行ってください。

4.2. View Current Configuration

Windows95/98/Meではプリンタのプロパティの詳細画面で「印刷先のポート」にLPRint98のポートを設定する必要があります。

ポートの設定をLPRint98セットアッププログラムで行う場合LPRint98セットアッププログラムで新しいポートを設定します。

1. 「新しいポートを設定しますか？」の画面が表示されていることを確認してください。
2. 「はい(Y)」をクリックすると次の「LPRint98ポート設定」ダイアログボックスが表示されますので、ポートを設定します。



3.「ポート名」、「IPアドレス/ホスト名」、「出力先」の各項目を入力してください。

ポート名

任意の名前を入力してください。

ただし、プリンタのプロパティの詳細画面で「印刷先のポート」で設定済みのポート名と同じ名前は使用しないでください。また以下の半角記号は使用しないでください。

スペース" " | "/" | "¥" | "&" | ":" | "="

IPアドレス /ホスト名

IPアドレスを入力してください。

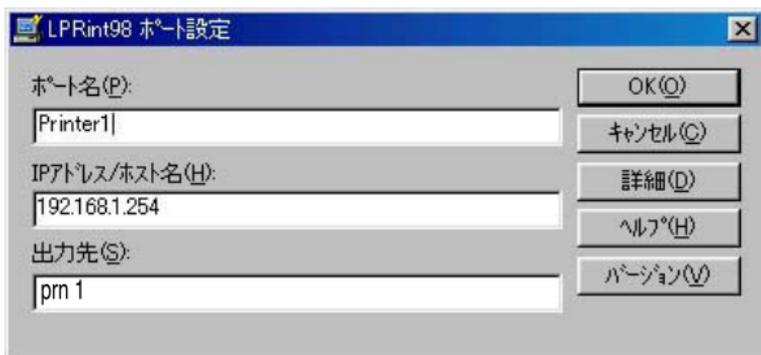
出力先

prn1を入力してください。(GW-PS01Uに接続されているデバイスのLPRキュー名を入力してください。)

なお、「詳細」の内容については「6.6.3.ポートの詳細設定」をご覧ください。また、「ヘルプ」、「バージョン」については「6.6.6.印刷のモニタおよび印刷の中止」をご覧ください。

例)

IPアドレスが「192.168.1.254」であり、USBポートにプリンタが接続されている場合。



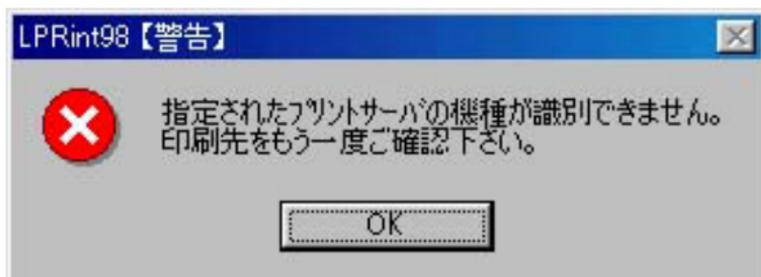
4.各項目の設定が完了したら「OK」ボタンをクリックしてください。

注意 「OK」を押して「LPRint98【警告】」ダイアログがWindows95/98/Me画面上に表示される場合、以下が考えられます。

例)

IPアドレスは設定されているが、「LPRint98ポート設定」ダイアログボックス内の「IPアドレス/ホスト名」や「出力先」が間違っている場合。

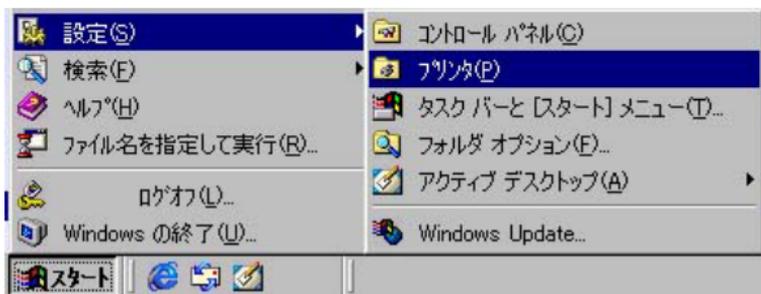
IPアドレスや出力先をもう一度確認してください。



注意 この手順ではインストールの続きからポート設定をしています。「LPRint98ポート設定」の各項目の設定が終わり次第、下図が表示されるので「OK」をクリックした後、LPRint98のセットアップ」ダイアログボックスの「終了」ボタンをクリックし、Windows95/98/Meを再起動してください。



5. スタートメニューから「設定」「プリンタ」を選択してください。



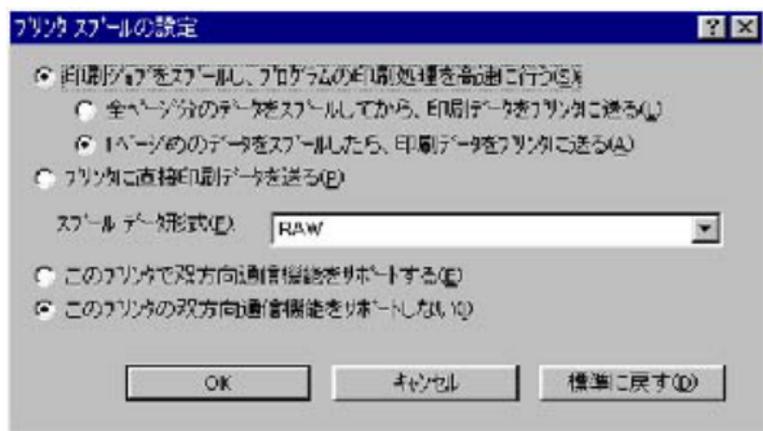
6. 「プリンタ」ウィンドウからLPRint98で出力したいプリンタを選択し、右クリック 「プロパティ」を選択してください。



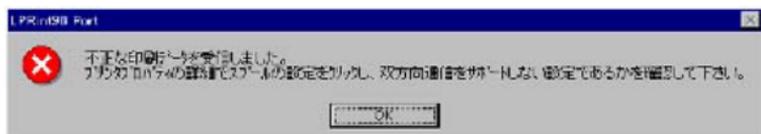
7. 「プロパティ」画面が表示されたら「詳細」タブをクリックし、先ほど設定したLPRint98のポートを「印刷先のポート」で選択してください。



8. 「スプールの設定」ボタンをクリックしてください。以下の画面で「プリンタに直接印刷データを送る」にはチェックしないでください。また、「このプリンタの双方向通信機能をサポートしない」が選択できる場合は、ここにチェックしてください。双方向をサポートしていないドライバでは、グレー表示になり選択できません。



注意 印刷時にLPRint98が起動しない場合、もしくは次のエラーが表示される場合は上記の設定がされていないことが考えられるので、確認してください。



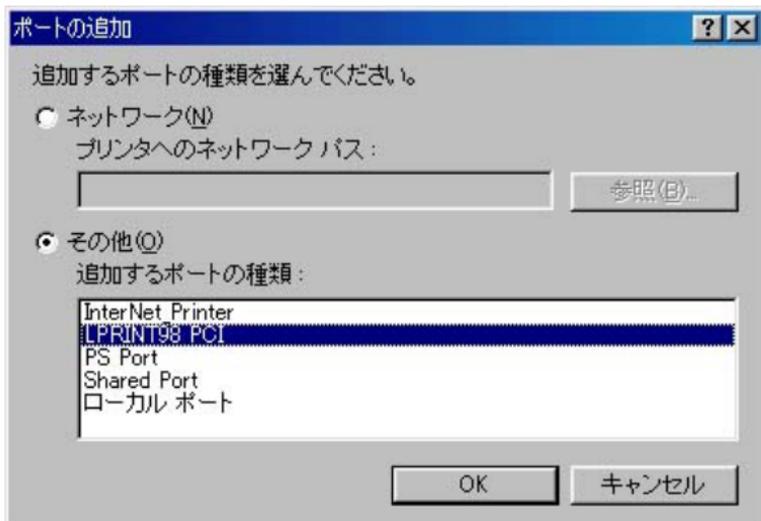
9. 「スプールの設定」ができたなら「適用」ボタンをクリックしてください。ポートの設定はこれで終了です。
10. 「情報」タブをクリックし、「印字テスト」ボタンを押し、印刷を確認してください。

ポートの設定をプリンタのプロパティの詳細画面で行う場合LPRint98のインストール時にポートを設定していない場合でも、プリンタのプロパティの詳細画面からポートを追加もしくは設定変更することができます。

1. プリンタのプロパティの詳細画面を開いてください。
2. 「ポートの追加」ボタンをクリックしてください。
3. 「ポートの追加」画面が表示されたら「その他」のラジオボタンをチェックし、「追加するポートの種類」のリストから「LPRint98」を選択し「OK」ボタンをクリックしてください。

注意 LPRint98が表示されていない場合はWindows95/98/Meを再起動してください。

4. 「OK」ボタンをクリックすると「LPRint98ポート設定」ダイアログボックスが表示されます。



5. 「LPRint98ポートの設定」ダイアログボックスの各項目の入力が完了し、「OK」ボタンをクリックした後、プリンタのプロパティの詳細画面の「スプールの設定」ボタンをクリックしてください。
6. プリンタのプロパティの詳細画面に戻ったら「適用」ボタンをクリックしてください。
7. 「情報」タブをクリックし、「印字テスト」ボタンを押し、印刷を確認してください。

4.3. ポートの詳細設定



「LPRint98ポート設定」ダイアログボックスの「詳細」ボタンをクリックすると次の「LPRint98詳細設定」ダイアログボックスが表示されます。



1.印刷時にモニタ画面を表示する

印刷状況を表示します。

2.印刷終了後にモニタを閉じる

印刷終了後、自動的にモニタを閉じます。

3.キュー印刷をする

・チェックしない場合

複数のプリンタへの同時印刷時には、複数のモニタが起動し、各プリンタへ同時に送信します。なお、上記の動作中タスクトレイには複数のLPRint98アイコンが表示されます。この結果、複数のプリンタへの同時送信が可能なので、[チェックした場合]よりも早く印刷を終了することができます。この場合、次のように表示されます。

例)3台のプリンタへ同時印刷した場合



・チェックした場合

複数のプリンタへの同時印刷時にも一つのモニタのみ起動し、一つ目のジョブが終了次第、次のジョブの送信を開始します。

例)3台のプリンタへ同時印刷した場合



4.ポーリング間隔

"キュー印刷を使用する"にチェックした場合のみ有効となります。
設定可能な範囲は「3～60」(秒)です。

5.プリンタのステータスを監視する

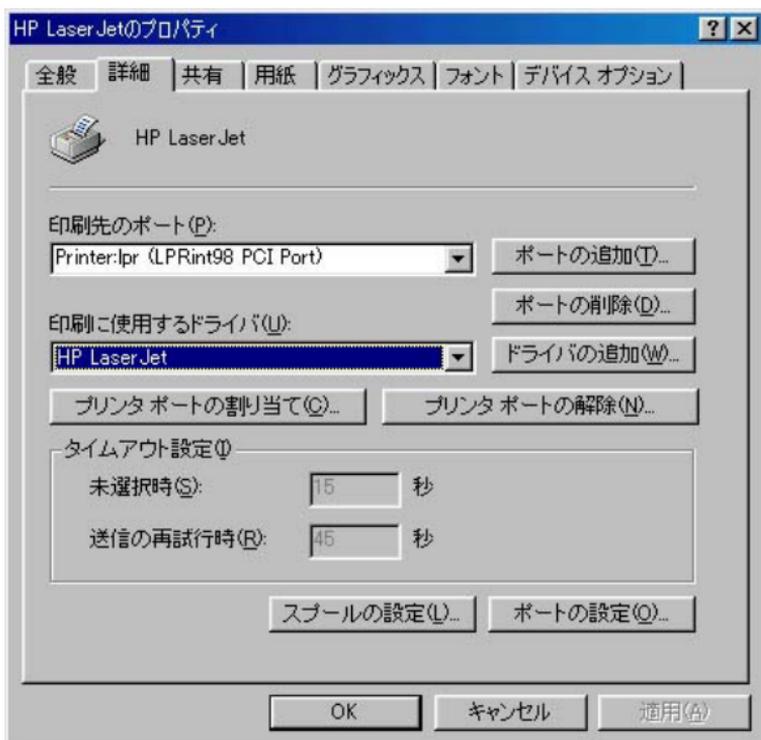
チェックすると、モニタ画面にプリンタの状態を表示します。
表示内容は「6.6.6.印刷のモニタおよび印刷の中止」をご覧ください。

6.ステータス取得間隔

"プリンタのステータスを監視する"をチェックした場合のみ有効となります。
設定値の間隔で、プリンタの状態を監視します。設定範囲は「5～60」(秒)です。

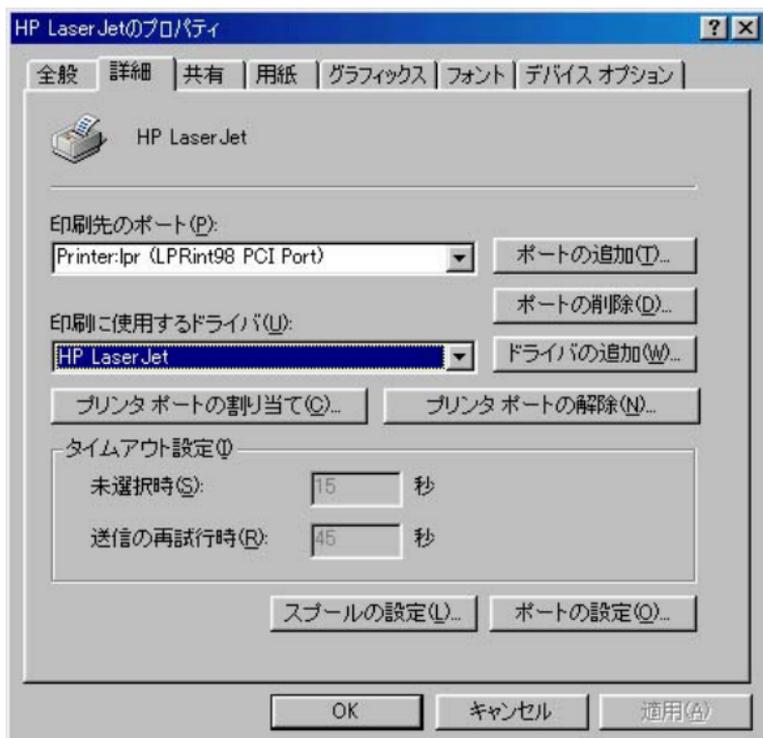
4.4. ポートの変更

設定済みのポートの値を変更する場合は、スタートボタンから「設定」「プリンタ」変更するプリンタの「プロパティ」「詳細」タブの「ポートの設定」ボタンをクリックして「LPRint98ポート設定」ダイアログボックスでポートの項目変更を行ってください。



4.5. ポートの削除

1. 「プリンタ」ウインドウからLPRint98で作成したポートを使用しているプリンタを選択し、右クリック「プロパティ」を選択します。
2. 「プロパティ」画面が表示されたら、「詳細」タブをクリックします。「印刷先のポート」から他のポートを選択し、「適用」ボタン、続いて「ポートの削除」ボタンをクリックします。



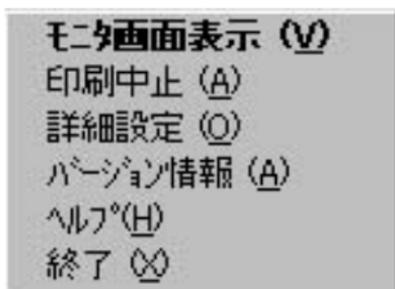
3. 「ポートの削除」画面が表示されたら削除するポートを選んで「OK」ボタンをクリックします。

4.6. 印刷のモニタおよび印刷の中止

印刷中タスクトレイに  このアイコンが表示されます。

このアイコンが出ている間はモニタ中です。

上のアイコンを右クリックするとメニューが表示されます。



モニタ画面表示

選択するとモニタ画面が表示されます。

モニタ画面にはジョブのステータスや、プリンタの状況などが表示されます。



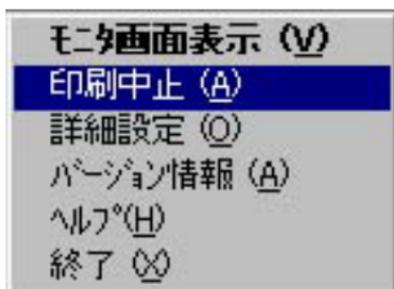
注意 「6.7.3.」のポートの詳細設定で「プリンタのステータスを監視する」をチェックしている場合のみ、信号の表示、オンライン/オフライン、用紙の各項目が表示されます。 ECP/Nibbleモードで印刷している場合は、オフライン情報/紙切れ情報は取得できません。また、プリンタによっては、オフライン情報/紙切れ情報を取得するのに必要な信号を出力しないものがあります。

「隠す」ボタンを押すとモニタ画面を消すことができます。
メニューの詳細設定で「印刷時にモニタ画面を表示する」をチェックしている場合も印刷時にポップアップします。

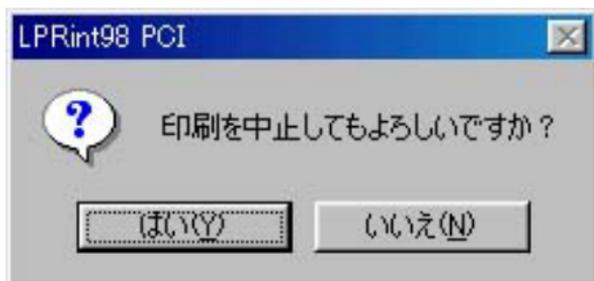
印刷中止

印刷中のジョブを破棄し印刷を中止することができます。

- 1.印刷中に上のアイコンを右クリックすると下図のように表示されます。

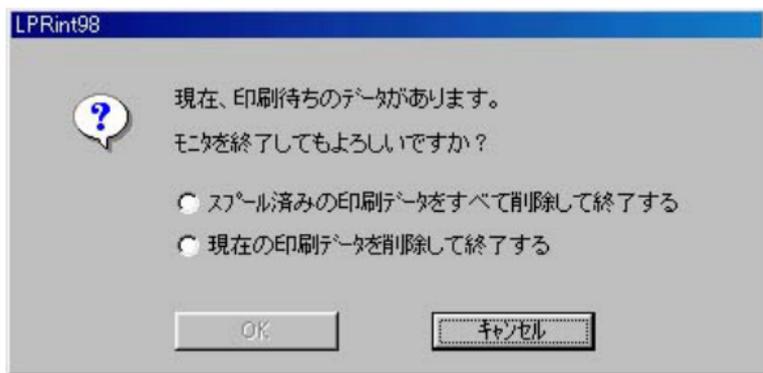


- 2.「印刷中止」を選択すると下図が表示されます。



印刷ジョブが複数スプールされている場合は、下図が表示されます。すべての印刷データを削除するか、現在の印刷データを削除するか選択できます。

注意 本機能は、Print98 Ver1.11J以降の対応となります。



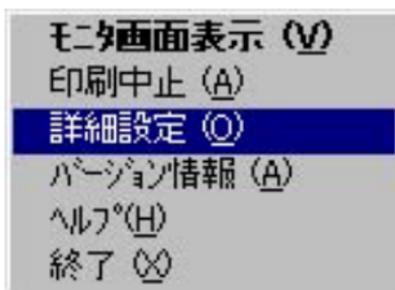
3. 「はい」「OK」ボタンをクリックすると現在実行中の印刷が中止します。

キューの中にまだ送信されていない印刷ジョブがある場合は、次の印刷ジョブの送信が始まります。

注意 送信済みのデータは破棄されません。

詳細設定

詳細設定画面を表示します。「6.6.3.ポートの詳細設定」をご覧ください。



バージョン情報

LPRint98のバージョンを表示します。

(「6.7.1.LPRint98のインストール」のLPRint98のセットアッププログラム起動時に表示される以下のボタンをクリックすることからもバージョンを確認することができます。)



ヘルプ

ヘルプを表示します。

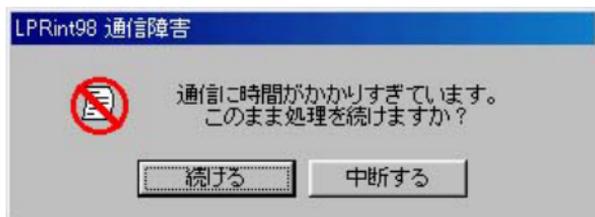
終了

LPRint98を終了します。

また印刷中のジョブは破棄され、印刷は中止されます。

キュー内にまだ送信されていない印刷ジョブがある場合は、次回起動時に送信されます。

注意 印刷を実行しスプールしている途中でモニタ画面がオフライン状態になった場合、しばらくすると下図の「LPRint98通信障害」画面が表示されます。



- ・「続ける」ボタンをクリックするとこのまま印刷を続けます。クリックする前にもう一度オンライン状態であるかを確認してください。
- ・「中断する」ボタンをクリックすると印刷を中断します。

4.7. EPSONインクジェットプリンタへの印刷注意点

EPSON社製インクジェットプリンタ(PM・MJシリーズなど)へLPRint98を使用して印刷する場合、以下の設定を行ってください。

1. プリントドライバのインストール後、EPSONスプールマネージャーを起動し、メニューの「プリントキュー」「セットアップ」を選択してください。



2. 「全体」タブの「プリントマネージャーを使用する」にチェックしてください。



なお、EPSON Spool Managerのメニュー表示が無い機種に関しては設定の必要がありません。

例)MJ-8000C、PM-5000C など。

4.8. LPRint98のアンインストール

LPRint98のアンインストールを行います。

ただし、LPRint98が起動している場合は行えませんのでLPRint98を予め終了してください。

- 1.「6.7.1.」のLPRint98のセットアッププログラム起動時に表示される「削除」ボタンをクリックします。
- 2.LPRint98のアンインストールプログラムが起動したら画面の内容に従って操作をしてください。

付録 A. 故障診断

1. テストスイッチ

設定の印刷

GW-PS01Uには本体側面にテストスイッチがあります。このスイッチを押すことにより、GW-PS01Uに接続されたプリンタに、GW-PS01U本体に設定された内容を印刷することができます。

GW-PS01Uの電源が入っていて、GW-PS01Uに接続されたプリンタが印刷可能(オンライン)な状態でテストスイッチを押してください。

印刷された内容が、お客様の設定した内容になっているか確認してください。

注意 印刷データはテキスト(ASCII)データですので、一部のプリンタでは、正常に印刷されない場合があります。

設定の初期化

テストスイッチを押しながらGW-PS01Uの電源を入れ、そのまま15秒以上テストスイッチを押し続けると、GW-PS01U本体内部の設定は工場出荷時のデフォルト設定に戻ります。

トラブルの原因が不明で、初めから設定をやり直したい場合にご利用ください。

注意 デフォルト設定

工場出荷時の状態は、第6章の表6-2をご覧ください。

2. テクニカルサポートコール

GW-PS01Uに係わる技術的なトラブルが発生し、トラブルの原因がわからない場合には、本書巻末の「GW-PS01U FAX テクニカルサポート シート」に必要事項をご記入の上、シートに書かれた送信先にFAXしてください。

サポートにつきましては、「はじめに」の「サポートについて」をご覧ください。

付録B. バージョンアップ

GW-PS01Uは内部にフラッシュROMを搭載していますので、弊社のインターネットホームページ(Webサイト)からのプログラムモジュールを入手することにより、ファームウェアプログラムのバージョンアップが簡単に行えるようになっています。

バージョンアップはバージョンアップユーティリティで行うか、ブラウザを使用して、ネットワーク経由でバージョンアップディスクのプログラムをGW-PS01Uにダウンロードします。

詳しくは弊社のインターネットホームページをご覧ください。

バージョンアップを行う前に現在のバージョンをテスト印刷、SetupWizard等で確認してください。

注意 バージョンアップに関する情報は、弊社のインターネットホームページでご案内しております。

バージョンアップユーティリティ(Windows版)でのバージョンアップ方法>

弊社ホームページより、プログラムをダウンロードして添付されている、バージョンアップユーティリティを起動し、バージョンアップ対象のGW-PS01UのIPアドレスを指定して、バージョンアップを行います。

付録C. 製品仕様

本体

< LAN インターフェース >

IEEE802.11b

< プリントインターフェース >

USB1.1 (TYPEA)

< 供給電量 >

AC100 ~ 240V ± 10% (50/60 Hz)

< 外形寸法 >

155 x 122 x 30 [mm]

< 重量 >

250 g

< 消費電力 >

3.4 W (MAX 4.2W)

< 使用周囲温度範囲 >

5 ~ 40 (C

< 保存周囲温度範囲 >

-10 ~ 60 (C

< 規格 >

VCCI class A

< 通信可能範囲 >

屋外：最大100m (11Mbps)

屋内：最大30m (11Mbps)

< 転送速度 >

1 / 2 / 5.5 / 11Mbps (自動切換え)

< セキュリティ >

WEP 40bits、SSID

ネットワーク

< 通信方式 >

アドホック・802.11アドホック・インフラストラクチャ

< 無線規格 >

IEEE 802.11b

無線

< 使用帯域 >

2.400 ~ 2.497 (Japan)

< 変調方式 >

Direct Sequence Spread Spectrum (DS-SS)

< Modulation Techniques >

CCK,BPSK,QPSK

< Sensitivity >

Min.-80dBm at 2Mbps/Min.-78dBm at 11Mbps